

IIxil プレミエスゲート(手動タイプ) 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>



注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 戸建住宅専用商品です。マンション等の高頻度の開閉する場所への設置はできません。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 梱包明細書で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工場所の寸法に製品が正しく納まるか確認してください。
- 崖上や風の通り道等の強風地域および豪雪地域への施工は避けてください。
- 製品の作動範囲に障害物が無いか確認してください。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・ 作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・ 作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・ 器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・ 作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・ 作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・ 万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 重量部材の取付けがありますので、危険を避けるために作業人数2～3人を確保してください。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- 取付説明書の順序通り組付けてください。製品の強度等、性能を低下させる場合が発生します。
- アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学薬品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
- 施工終了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。

<基礎工事について>

⚠ 注意

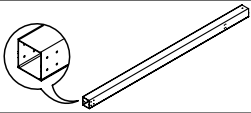
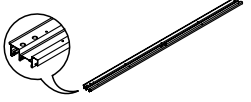
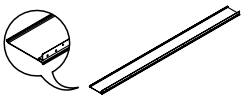
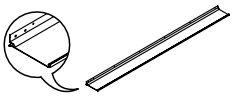
- 基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めています。現場によって（堅牢な地盤、軟弱な地盤など）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。
- 基礎施工寸法の柱埋込み位置は、性能や耐久性、安全上重要ですので必ずお守りください。
- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。
必要場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- 基礎の養生期間は十分にとり、その間に重い物を乗せたり振動を与えたりしないようにしてください。

🔑 ポイント

- 柱・桁・下レールの施工寸法に狂いが生じていないか、確認してから養生してください。
許容範囲を外れると以下の不具合が発生するおそれがあります。
 - ・ パネルの吊下げができなくなります。
 - ・ 施錠ができなくなります。
 - ・ 施工後、正常な開閉ができなくなります。

■梱包明細表

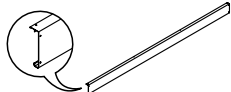
【1】柱セット

名 称	略 図	員 数		
		シングル		ワイド
		右引き	左引き	
手動用柱		2	2	2
戸当り 右引き		1	—	—
戸当り 左引き		—	1	—
フロントカバーR		1	—	1
フロントカバーL		—	1	1
フロントカバー用モヘア		1	1	2

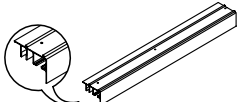
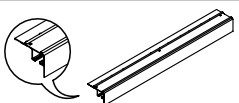
【2】桁

名 称	略 図	員 数		
		シングル		ワイド
		右引き	左引き	
桁		1	1	1

【3】桁カバー

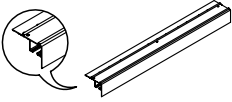
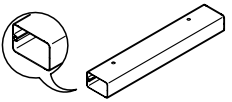
名 称	略 図	員 数	
		シングル	ワイド
桁カバー		1	1

【4】上レールセット

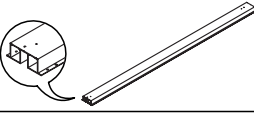
名 称	略 図	員 数		
		シングル		ワイド
		右引き	左引き	
センターレール		1	1	1
エンドレールR		1	—	1

■梱包明細表 つづき

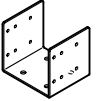
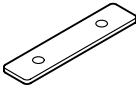
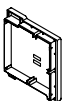
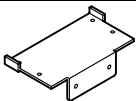
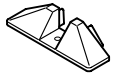
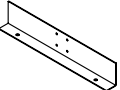
【4】上レールセット つづき

名 称	略 図	員 数		
		シングル		ワイド
		右引き	左引き	
エンドレールL		—	1	1
サイドレール		1	1	2

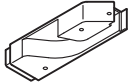
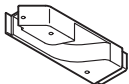
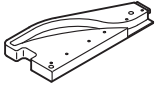
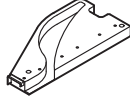
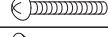
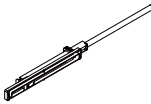
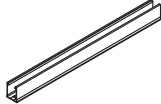
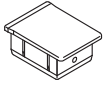
【5】下レール

名 称	略 図	員 数	
		シングル	ワイド
下レールステー		1	1
下レール		1	2

【6】部品セット

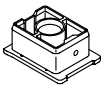
名 称	略 図	員 数		
		シングル		ワイド
		右引き	左引き	
桁・ベースプレート取付金具		4	4	4
桁裏板		4	4	4
桁キャップR		1	1	1
桁キャップL		1	1	1
下ローラーキャップ		3	3	6
下レールステー取付金具		2	2	2
下レールエンドキャップ		2	2	4
ベースプレート		4	4	4

【6】 部品セット つづき

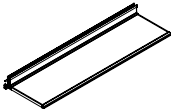
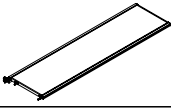
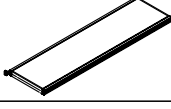
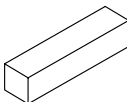
名 称		略 図	員 数		
			シングル		ワイド
			右引き	左引き	
	跳ね出しガイドR		1	—	1
	跳ね出しガイドL		—	1	1
	戸袋R		1	—	1
	戸袋L		—	1	1
	ストッパーゴム		—	—	2
	【6-1】 M8×16六角ボルト (SW+PW)		8	8	8
	【6-2】 M6×15 (+) 六角ボルト (SW+PW)		32	32	32
	【6-3】 φ5×40トラスタッピン3種		9	9	18
	【6-4】 φ5×14サラタッピン3種		2	2	4
	【6-5】 φ4×12トラスタッピン3種 (D=8)		16	16	16
	【6-6】 φ4×13ナベドリルネジ		52	52	66
	【6-7】 φ4×25トラスタッピン3種溝付		—	—	4
ローラー セット	合掌上ローラー		1	1	2
	前後ローラー		1	1	2
	【6-8】 M5×12 (+) 六角ボルト (SW)		4	4	8
落し棒 セット	落し棒		1	1	2
	落し棒カバー		1	1	2
	落し棒フロントカバー		1	1	2
	落し棒ガイド		1	1	2
	落し棒上キャップ		1	1	2

■梱包明細表 つづき

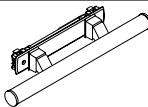
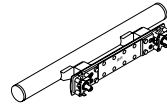
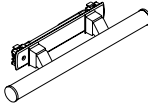
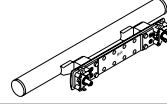
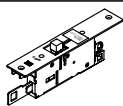
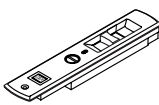
【6】 部品セット つづき

名 称	略 図	員 数			
		シングル		ワイド	
		右引き	左引き		
落し棒下キャップ		1	1	2	
【6-9】 M4ターンナット		4	4	8	
【6-10】 φ4×20トラスタッピン3種 (D=8)		4	4	8	
【6-11】 φ4×10サラタッピン3種 (D=6)		2	2	4	
【6-12】 φ4×10サラタッピン2種 (D=6)		2	2	4	
落し棒ストッパー		1	1	3	
【6-13】 φ4×30ナベドリルネジ		2	2	6	
潤滑剤		1	1	1	
取付説明書 (D457)	—	1	1	1	
取扱説明書 (UD093)	—	1	1	1	

【7】 パネル

名 称	略 図	員 数				
		掛側セット		受側セット	中間セット	
		右引き	左引き	左引き	右引き	左引き
戸当りパネル		1	1	1	—	—
吊元パネル		1	1	1	—	—
中間パネル (連結済み)		—	—	—	1	1
吊元框用モヘア		1	1	1	—	—
リンク		1	1	1	1	1
下敷き発泡材		3	3	3	3	3
【7-1】 M8×20六角穴付ボルト (ネジロック付)		2	2	2	2	2
【7-2】 M8バネ座金		2	2	2	2	2
【7-3】 M8平座金		2	2	2	2	2

【8】 プッシュプルPG錠

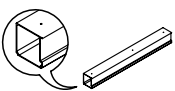
名 称	略 図	員 数	
		手動用 (片錠)	手動用 (両錠)
可動把手 家側		1	1
可動把手 道路側		1	1
固定把手 家側		—	1
固定把手 道路側		—	1
ストライク		1	1
戸先錠ケース ラッチ付		1	1
手動戸先内外錠ユニット		1	1
シリンダー座		1	1
キー		3	3
【8-1】φ4×16サラタッピンネジ3種		3	3
【8-2】M4ハサミナット		1	1
【8-3】M4×16サラ小ネジ (頭塗装)		1	1
【8-4】M4×35サラ小ネジ		2	4

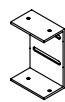
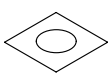
【9】 柱補強材

オプション

【10】 Gフレーム固定部品

オプション

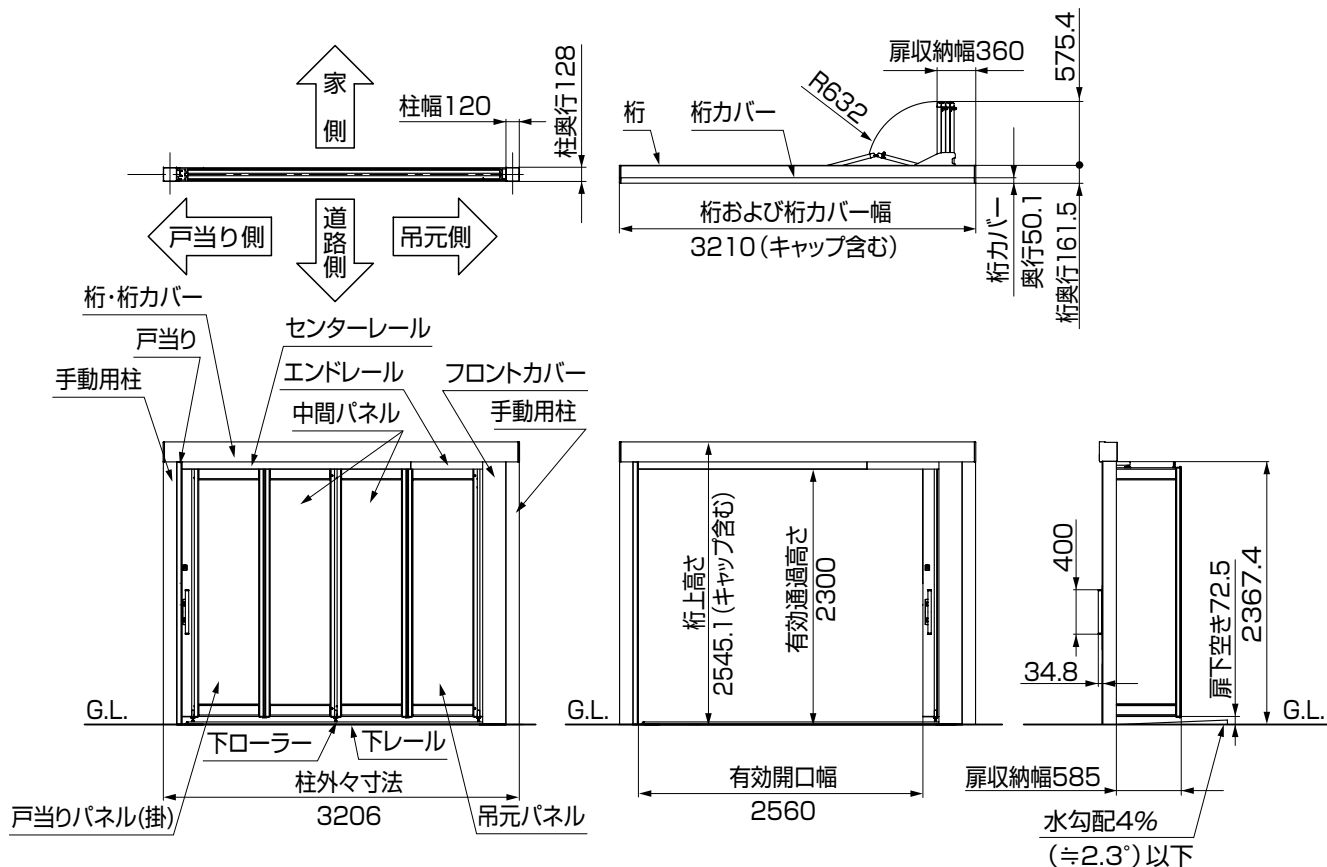
名 称	略 図	員 数
柱補強材		1
【9-1】φ4×16サラドリルネジ (D=6)		6

名 称	略 図	員 数
Gフレーム連結金具		1
穴隠しシール		6
【10-1】M5×12トラス小ネジ		4

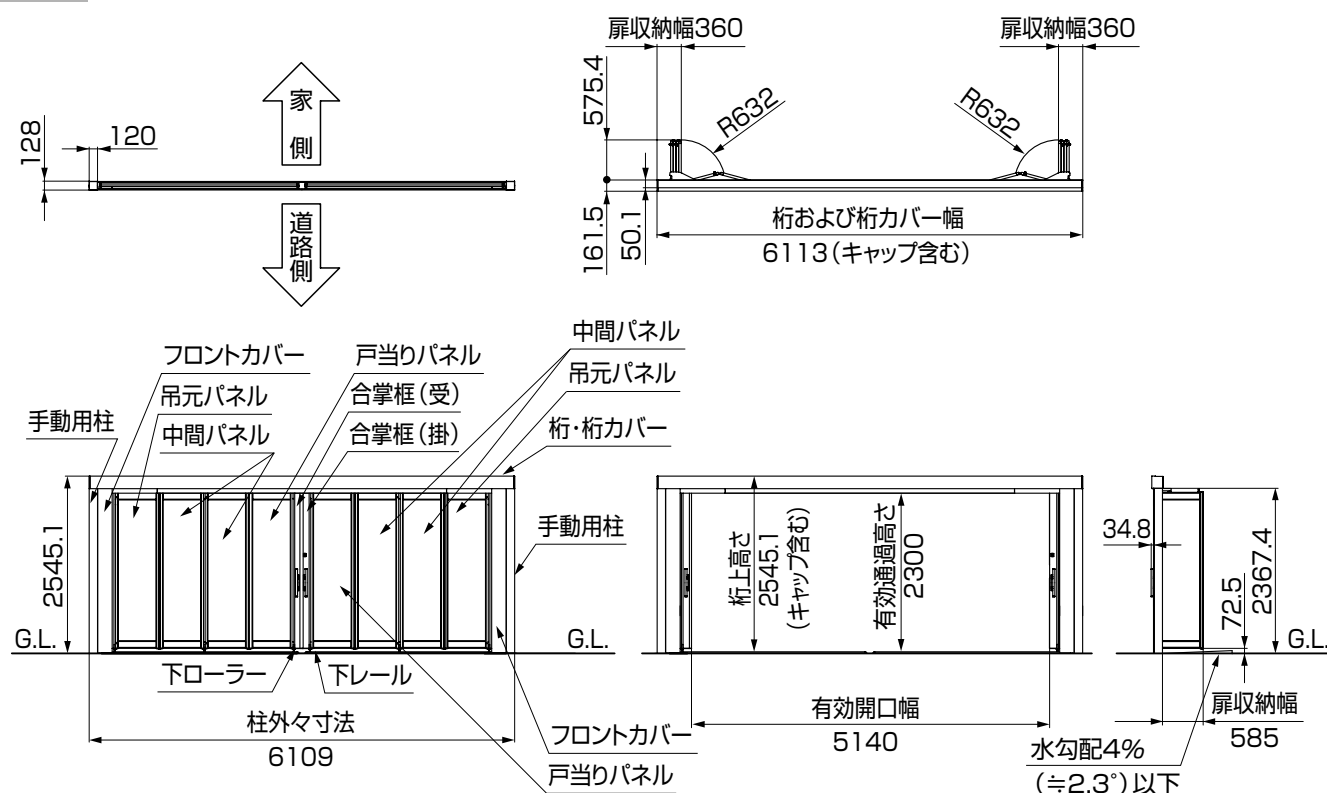
1. 各部の名称および基本寸法図

1-1 シングルタイプ

※本図は右引きを示します。左引きは対称になります。



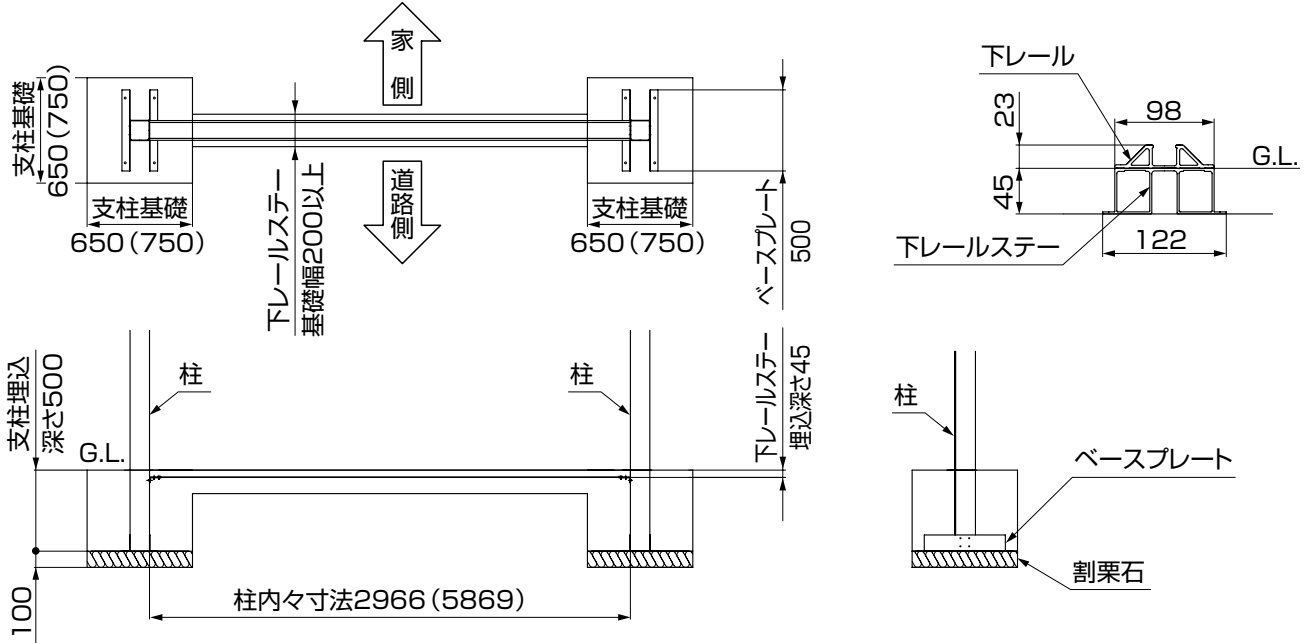
1-2 ワイドタイプ



2. 基礎寸法

2-1 基礎寸法

※寸法はシングルタイプの場合を示し、（ ）内寸法はワイドタイプを示します。

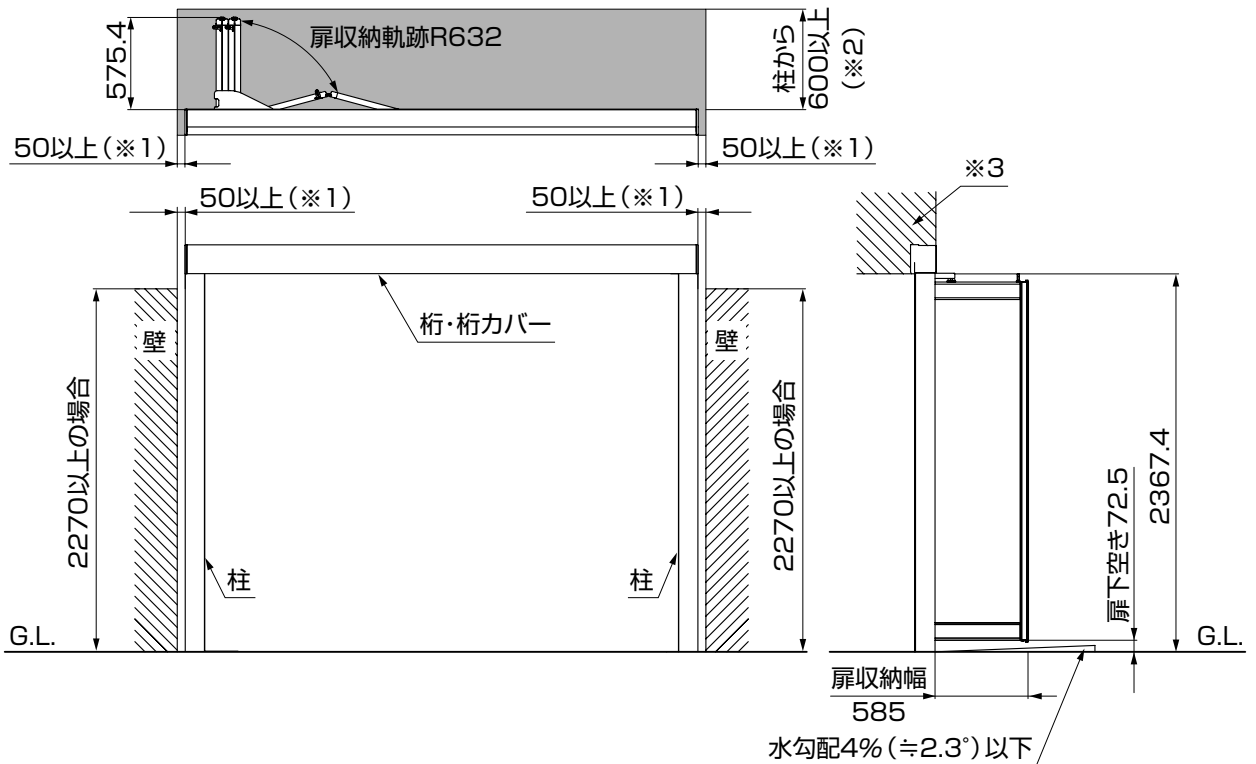


2-2 扉はみ出し寸法・必要高さ寸法

※柱側面へ2270mm以上の壁等を設置する場合には、メンテナンスの弊害になるため必ず50mm（※1）以上のクリアランスを確保してください。

※扉の収納と安全な開閉のため、家側に600mm以上(※2)の空きスペースを確保してください。

※桁力バーの前面および上面は、メンテナンスの弊害になるため必ず障害物がなく、着脱が可能であることを確認してください。(※3)



3. 基礎施工前の準備

3-1 桁・ベースプレート取付金具の取付け

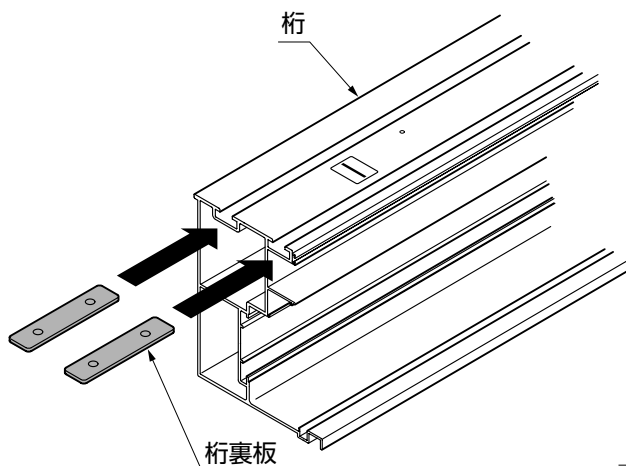


図3-1

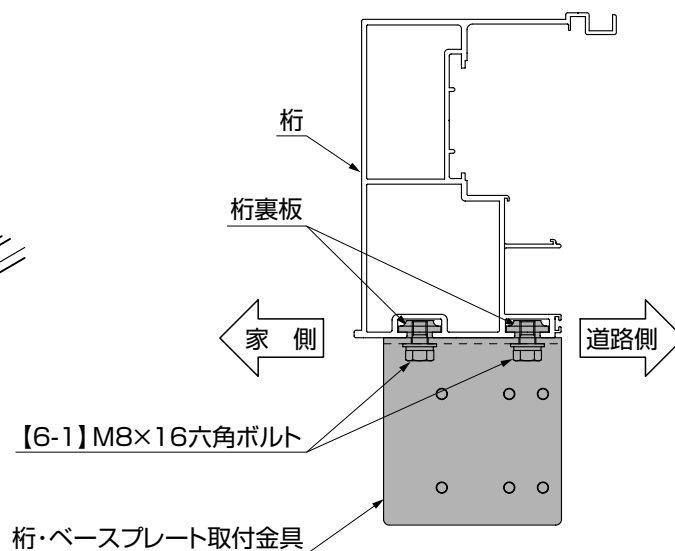


図3-2

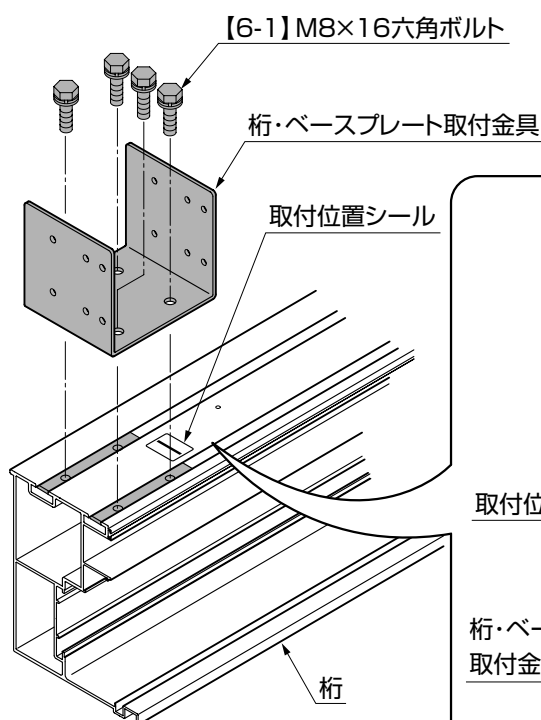


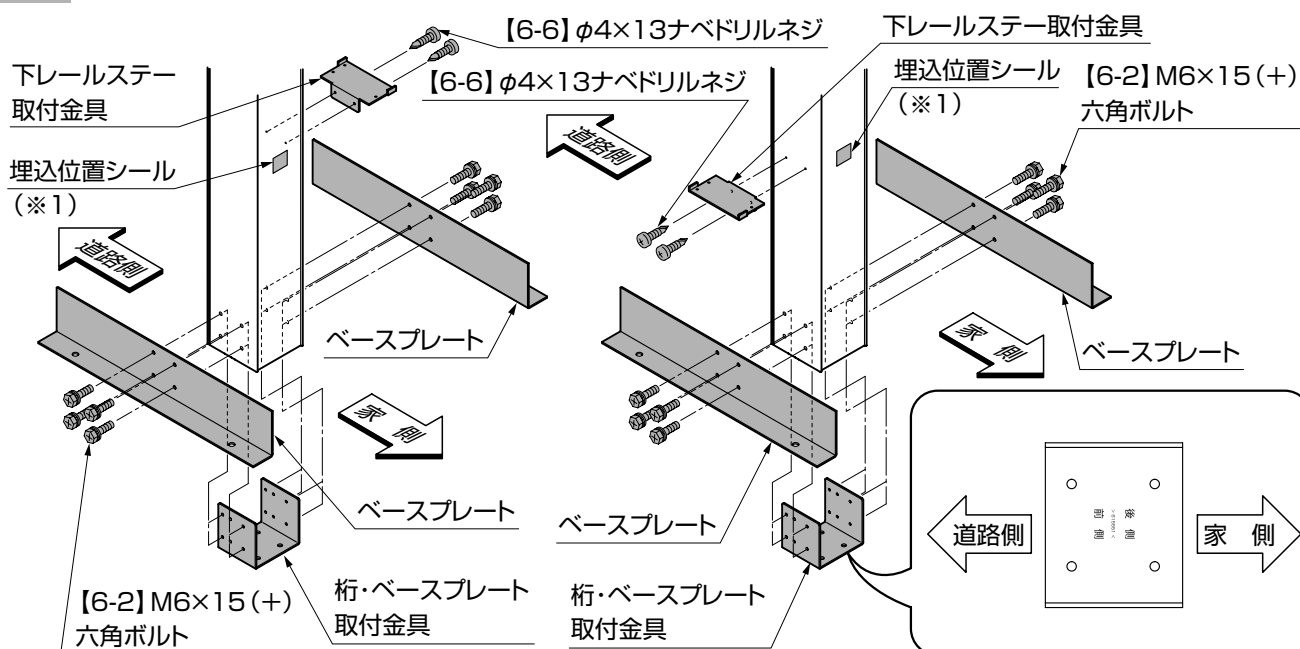
図3-3

- ① 桁の溝に桁裏板を差込んでください。(図3-1参照)
- ② 桁取付金具の側面を取付位置シールのガイド線に合わせて、桁・ベースプレート取付金具を【6-1】で取付けてください。(図3-2、図3-3参照)
- ③ 反対側も同様に取付けてください。

ポイント

- 桁・ベースプレート取付金具は必ず、取付位置シールのガイド線に合わせ、桁裏板が桁の端部からはみ出していないことを確認してください。

3-2 ベースプレートと下レールステー取付金具の取付け

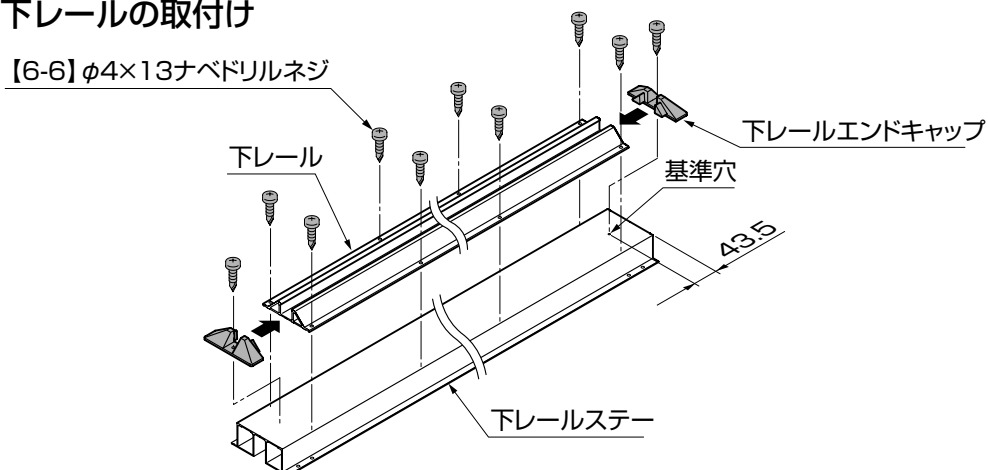


- ① 桁・ベースプレート取付金具を柱の下から差し込み、【6-2】でベースプレートを取付けてください。
- ② 下レールステー取付金具を【6-6】で取付けてください。

ポイント

- 柱には上下の方向があります。埋込位置シール(※1)を確認してください。

3-3 下レールの取付け



- ① 下レールの両端に下レールエンドキャップを差込んでください。

補足

- 差し込みにくい場合は、木づち等で叩いて入れてください。

- ② 下レールステーの基準穴に合わせて、片方の下レールエンドキャップを【6-6】で取付けてください。
- ③ 下レールと片方の下レールエンドキャップを【6-6】で下レールステーに取付けてください。

補足

- ワイドタイプは、下レールステーに下レールを2本取付けます。

4. 門扉の取付け準備 **オプション**

※指定方法以外で取付けないでください。納まり不良、強度不足等の原因になります。

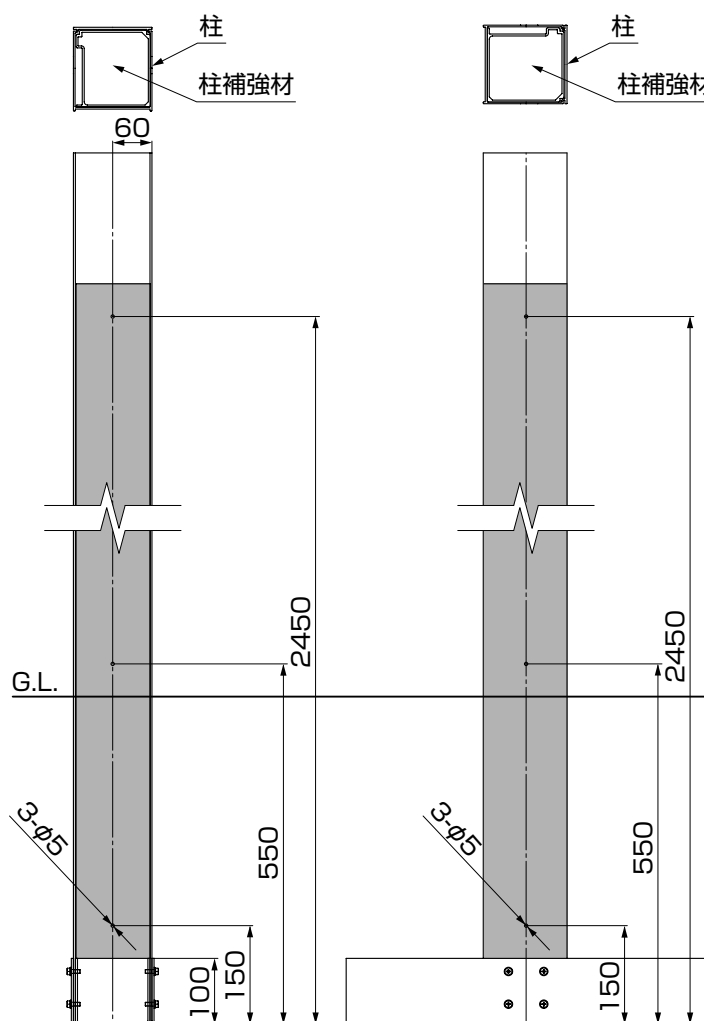


図4-1
取付位置(家側面)

図4-2
取付位置(側面)

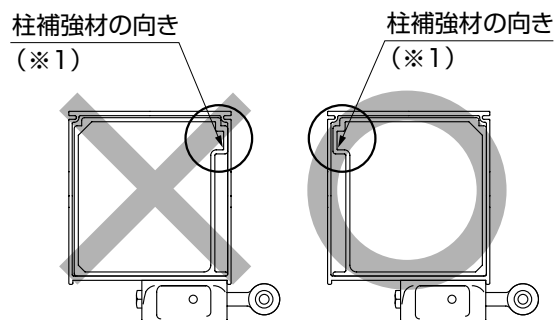


図4-5

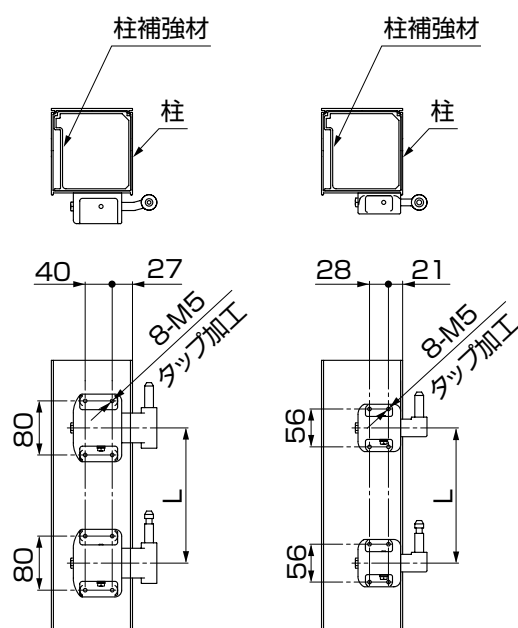


図4-3
調整金具Oの場合

図4-4
調整金具Hの場合

ポイント

- 外開きで使用することはできません。
- 片開きの戸当り柱として使用することはできません。
- 補強材には向き(※1)がありますので注意してください。(図4-5参照)

- ①門扉を吊る柱にφ5の穴を6箇所あけてください。(図4-1、図4-2参照)
- ②門扉を吊る柱に柱補強材を入れ、穴に合わせて【9-1】で取付けてください。

ポイント

- 柱補強材を引き寄せるため、必ず家側面を先に取付けてください。(図4-1参照)

- ③調整金具の取付け位置にφ4.5の下穴を8箇所あけて、M5タップ加工してください。

ポイント

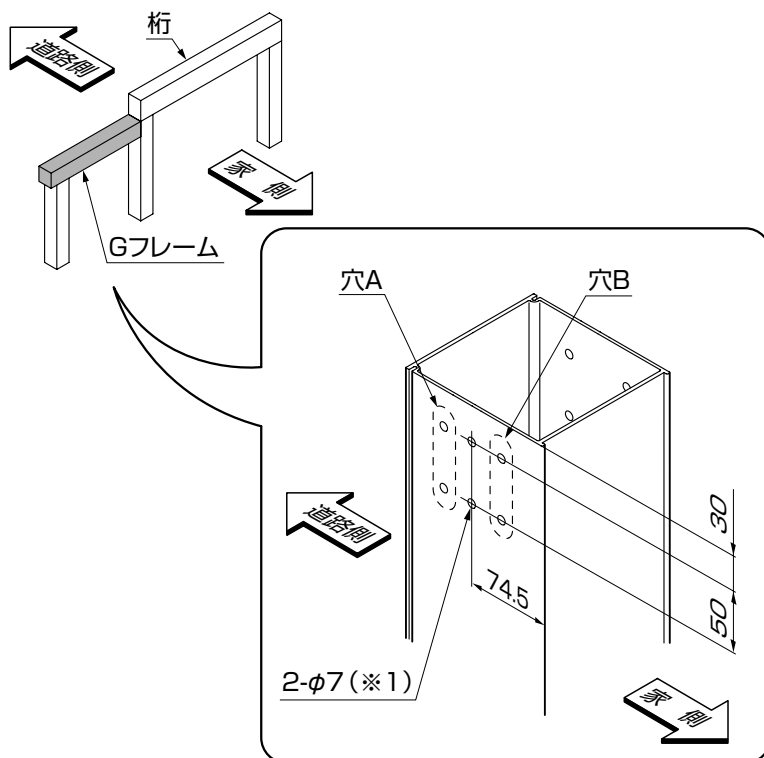
- 下穴は、補強材を確実に貫通するようにあけてください。
- 調整金具の間隔Lは、各門扉の取付説明書を参照してください。

- ④調整金具を付属のネジで取付けてください。

5. Gフレームの取付け準備 **オプション**

※指定方法以外で取付けないでください。納まり不良、強度不足等の原因になります。

5-1 柱の側面（上端部）に取付ける場合

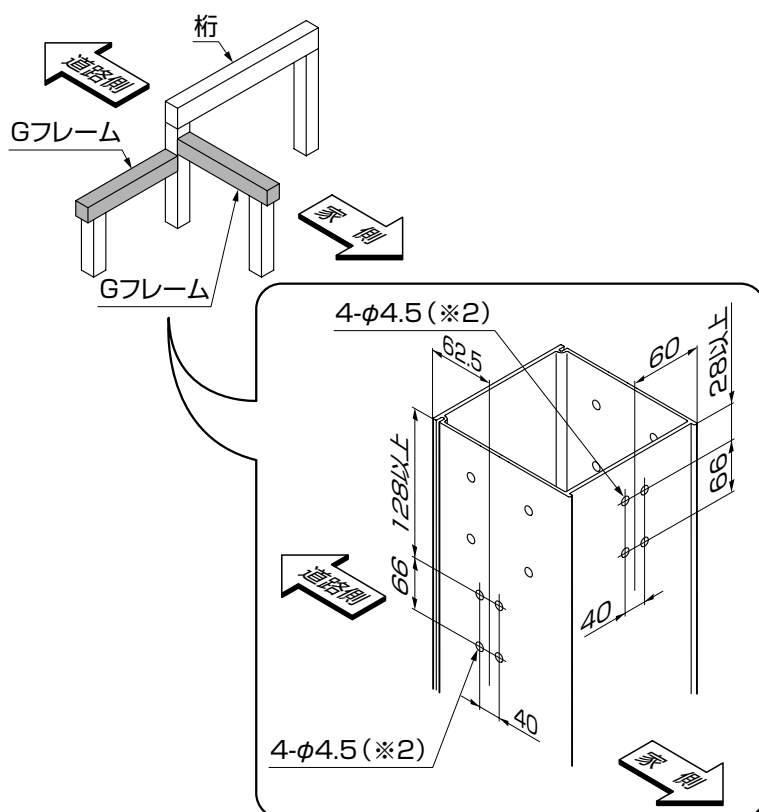


- ①取付ける柱にφ7(※1)の追加穴を2箇所あけてください。
- ②不要な穴に、穴隠しシールを2つ貼付けてください。

ポイント

- 道路側に寄せて取付ける場合は、穴隠しシールを穴Bに貼付けてください。
- 家側に寄せて取付ける場合は、穴隠しシールを穴Aに貼付けてください。

5-2 柱の側面（上端部以下）・家側面に取付ける場合



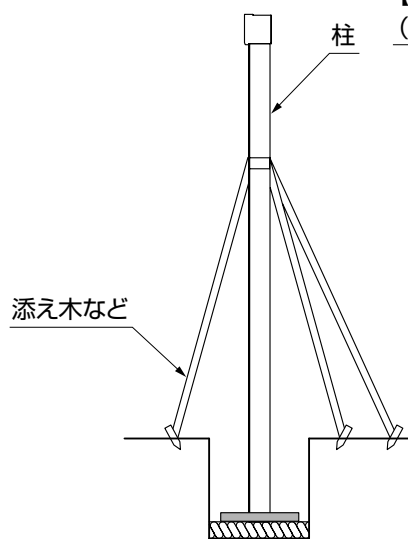
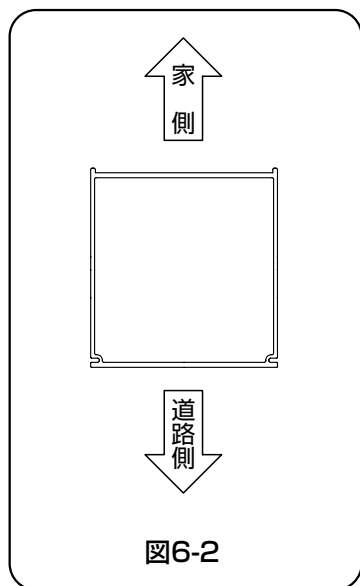
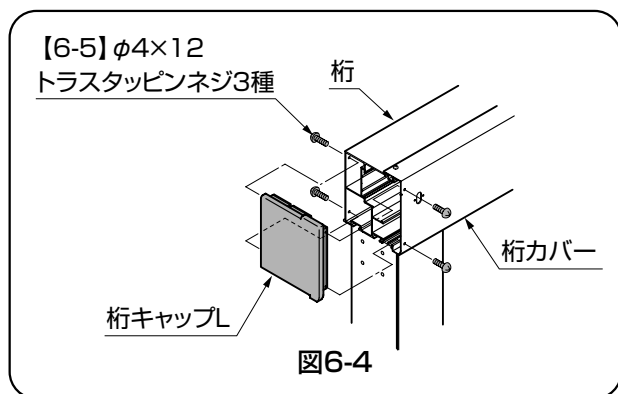
- ①取付ける柱にφ4.5(※2)の下穴を4箇所あけてください。

ポイント

- 補強材が入っている高さ（G.Lから2000以下）に取付ける場合、下穴は補強材も確実に貫通するようにあけてください。

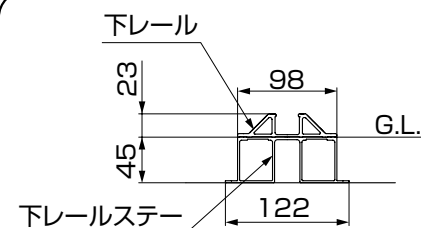
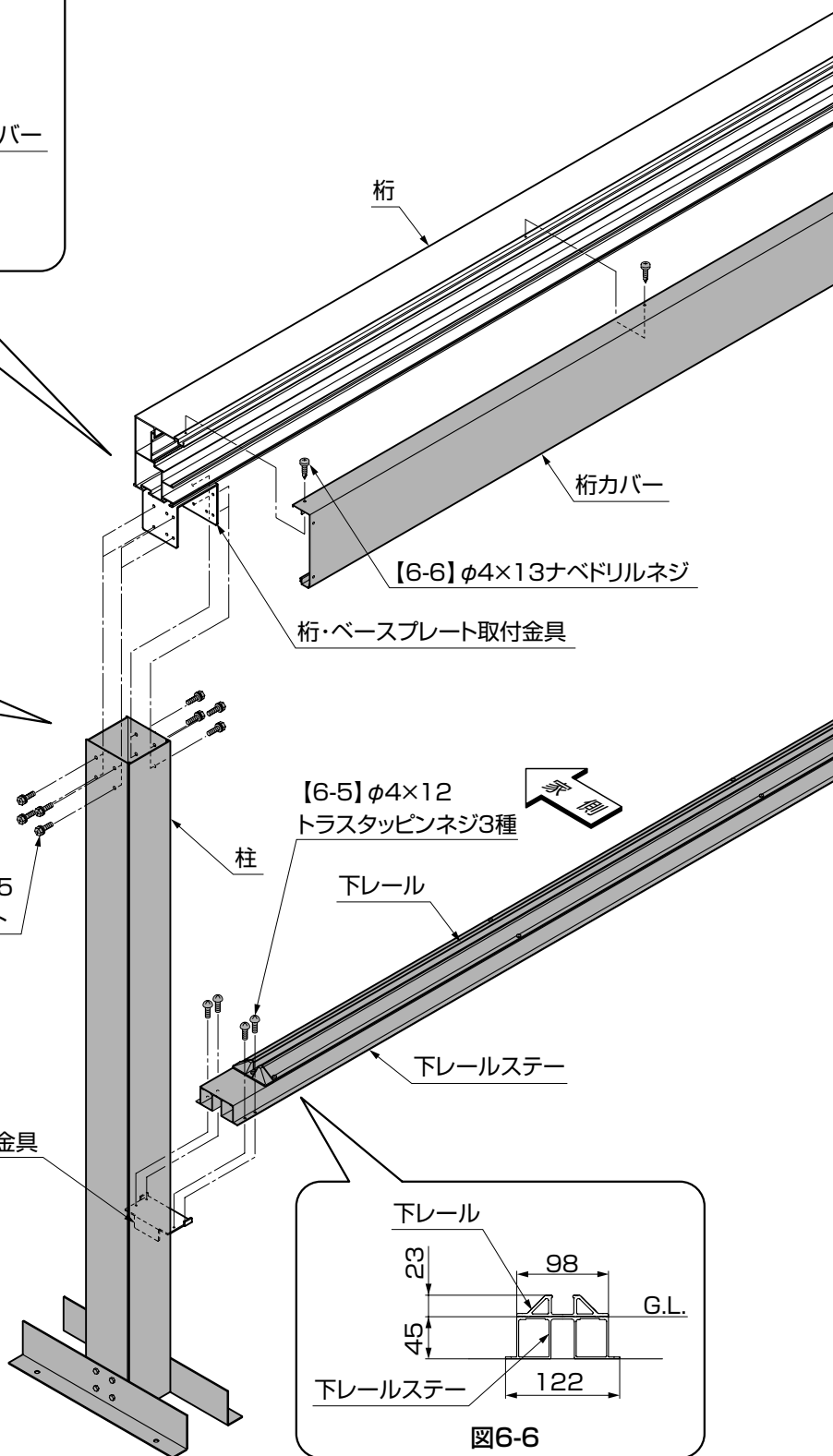
6. 基礎施工

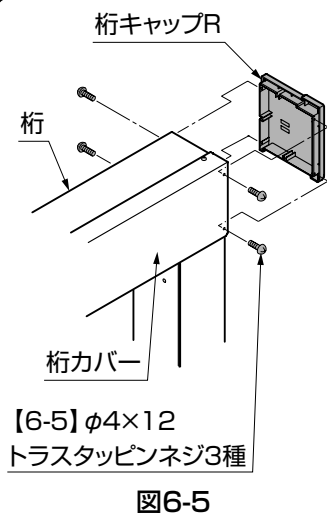
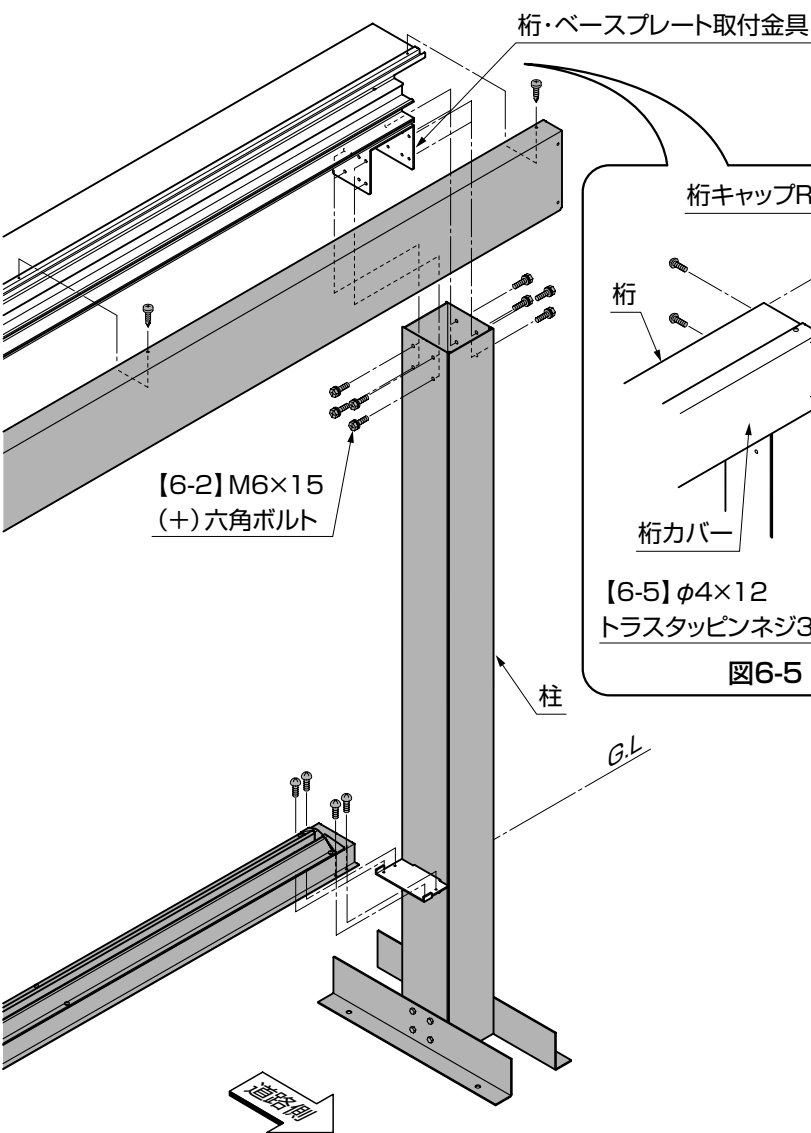
6-1 基礎施工



【6-2】M6×15
(+)六角ボルト

下レール
ステー取付金具





- ①基礎穴を掘り、割栗石を敷いてください。
(「2-1 基礎寸法」参照)
- ②柱を仮固定してください。(図6-1参照)

ポイント

- 柱には前後がありますのでご注意ください。(図6-2参照)

- ③下レールステー取付金具に下レールステーを載せて【6-5】で取付けてください。(図6-6参照)

ポイント

- シングルタイプの場合、下レールステーの取付けに左右が発生します。基準穴のある方が吊元柱側になります。(図6-3参照)

- ④柱に桁・ベースプレート取付金具を差込み、【6-2】で取付けてください。
- ⑤桁に桁カバーを【6-6】で取付けてください。
- ⑥桁キャップを【6-5】で取付けてください。(図6-4、図6-5参照)

ポイント

- 基礎コンクリートを養生する際に施工寸法の狂いが生じていないか確認してください。(「6-2 施工時の確認項目」参照)
- 基礎コンクリートが十分に硬化するまでの間は柱の倒れやねじれ、下レールステーのたわみ等が生じないように注意してください。パネルの吊り下げができなかったり、施工後に正常な開閉ができなくなります。

- ⑦基礎コンクリートをG.L.面まで打設してください。

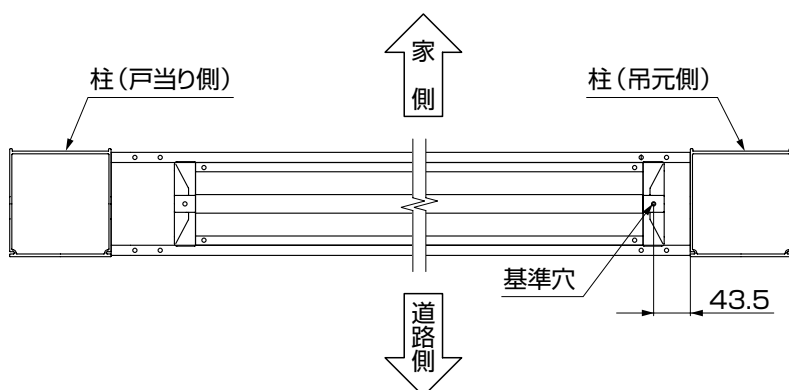


図6-3 シングルタイプ右引きの場合

6. (つづき)

6-2 施工時の確認項目

※施工時に以下の確認を行なってください。

ポイント

- 柱・桁・下レールステーの施工寸法に狂いが生じていないか、確認してから養生してください。
許容範囲を外れると以下の不具合が発生するおそれがあります。
 - ・パネルの吊下げができなくなります。
 - ・施錠ができなくなります。
 - ・施工後、正常な開閉ができなくなります。

(1) 間口寸法の確認

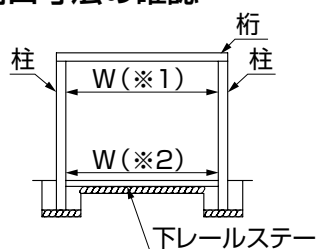


図6-7

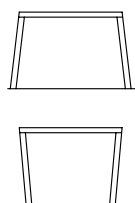


図6-8

寸法を外れたイメージ

- ①上下2箇所の柱内々寸法は、スケールを使用して下記表の寸法の範囲にしてください。
測定した寸法を表の測定値欄に記入してください。

	シングル	ワイド
柱内々寸法 (W)	2966±3	5869±3
W 測定値 ※1		
W 測定値 ※2		

(2) 柱の倒れの確認

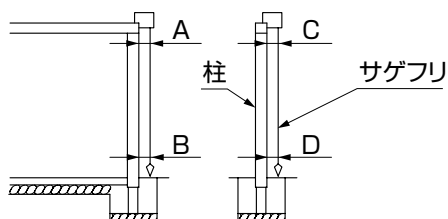


図6-9



図6-10

寸法を外れたイメージ

- ①測定はサゲフリを使用して、図6-6の柱上端と下端のA部とB部、C部とD部を測定してください。
②柱の間口方向・奥行きへの倒れは、±5mmの範囲にしてください。
測定した寸法を表の測定値欄に記入してください。

	A	B	C	D
測定値 (±5)				

(3) 左右柱の高低差の確認

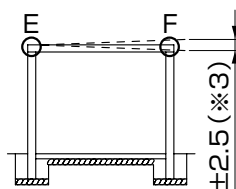


図6-11

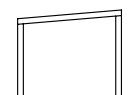


図6-12

寸法を外れたイメージ

- ①測定部E部に対してF部の高さが±2.5mm (※3)の範囲になるように調整してください。
測定した寸法を表の測定値欄に記入してください。

	E-F
測定値 (±2.5)	

(4) 下レールステーのたわみの確認

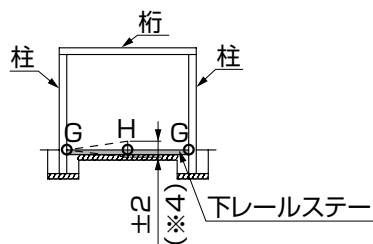


図6-13

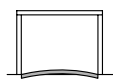
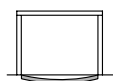


図6-14

寸法を外れたイメージ

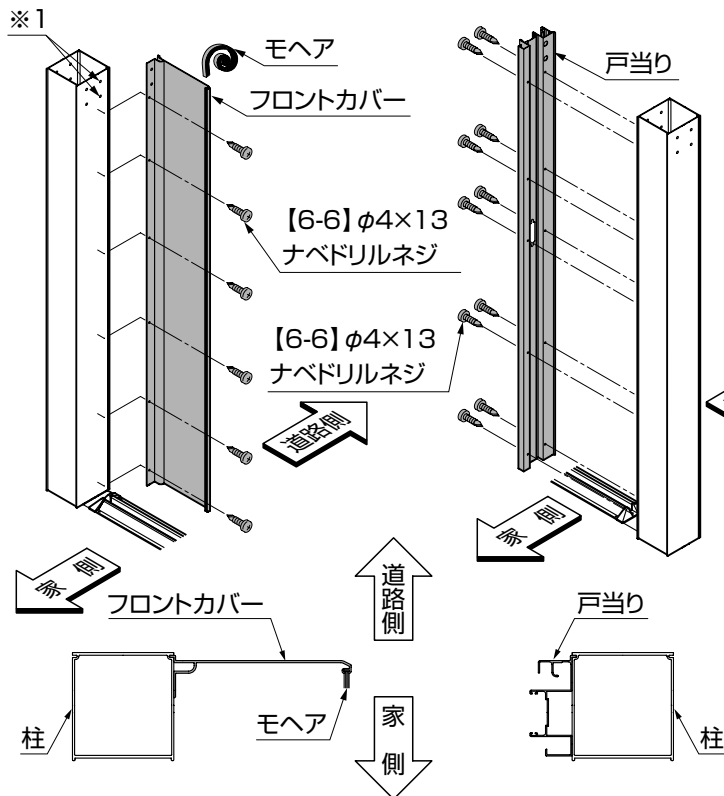
- ①測定部G部に対してH部の高さが±2mm (※4)の範囲になるように調整してください。
測定した寸法を表の測定値欄に記入してください。

	G-H
測定値 (±2)	

7. フロントカバーと戸当りの取付け

7-1 シングルタイプの場合

※図は、右引きを示します。左引きは左右対称になります。



①フロントカバーにモヘアを取付けてください。

補足

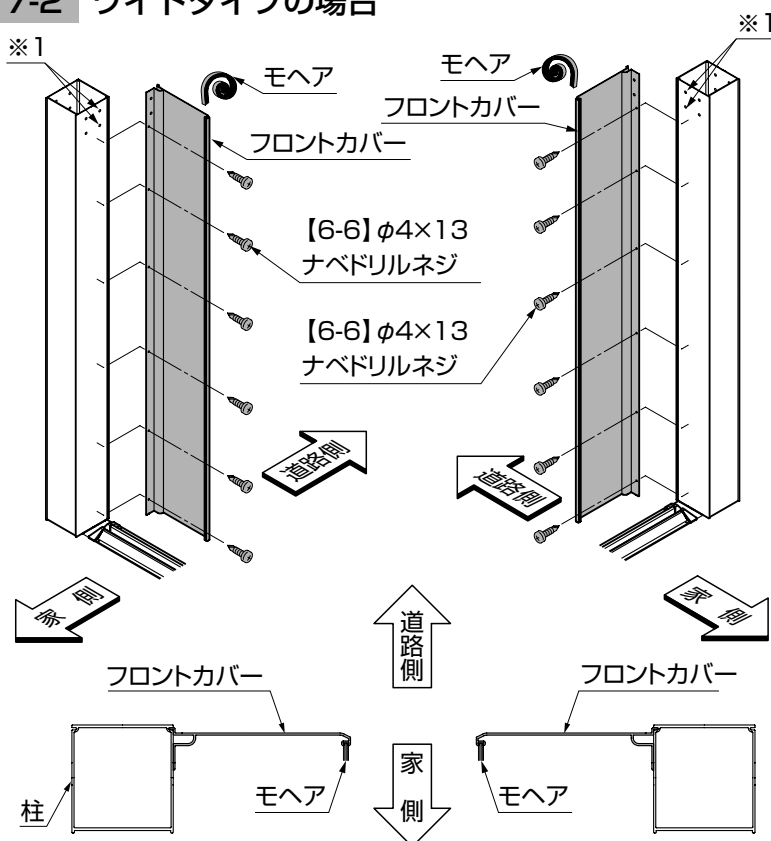
●モヘアが余った場合は、フロントカバーの端部で切断してください。

②桁を取付けている【6-2】を外してフロントカバーを共締めしてください。(※1)

③吊元側の柱にフロントカバーを【6-6】で取付けてください。

④戸当り側の柱に戸当りを【6-6】で取付けてください。

7-2 ワイドタイプの場合



①フロントカバーにモヘアを取付けてください。

補足

●モヘアが余った場合は、フロントカバーの端部で切断してください。

②桁を取付けている【6-2】を外してフロントカバーを共締めしてください。(※1)

③吊元側の柱にフロントカバーを【6-6】で取付けてください。

8. センターレールの取付け

8-1 シングルタイプの場合

※図は、右引きを示します。左引きは左右対称になります。

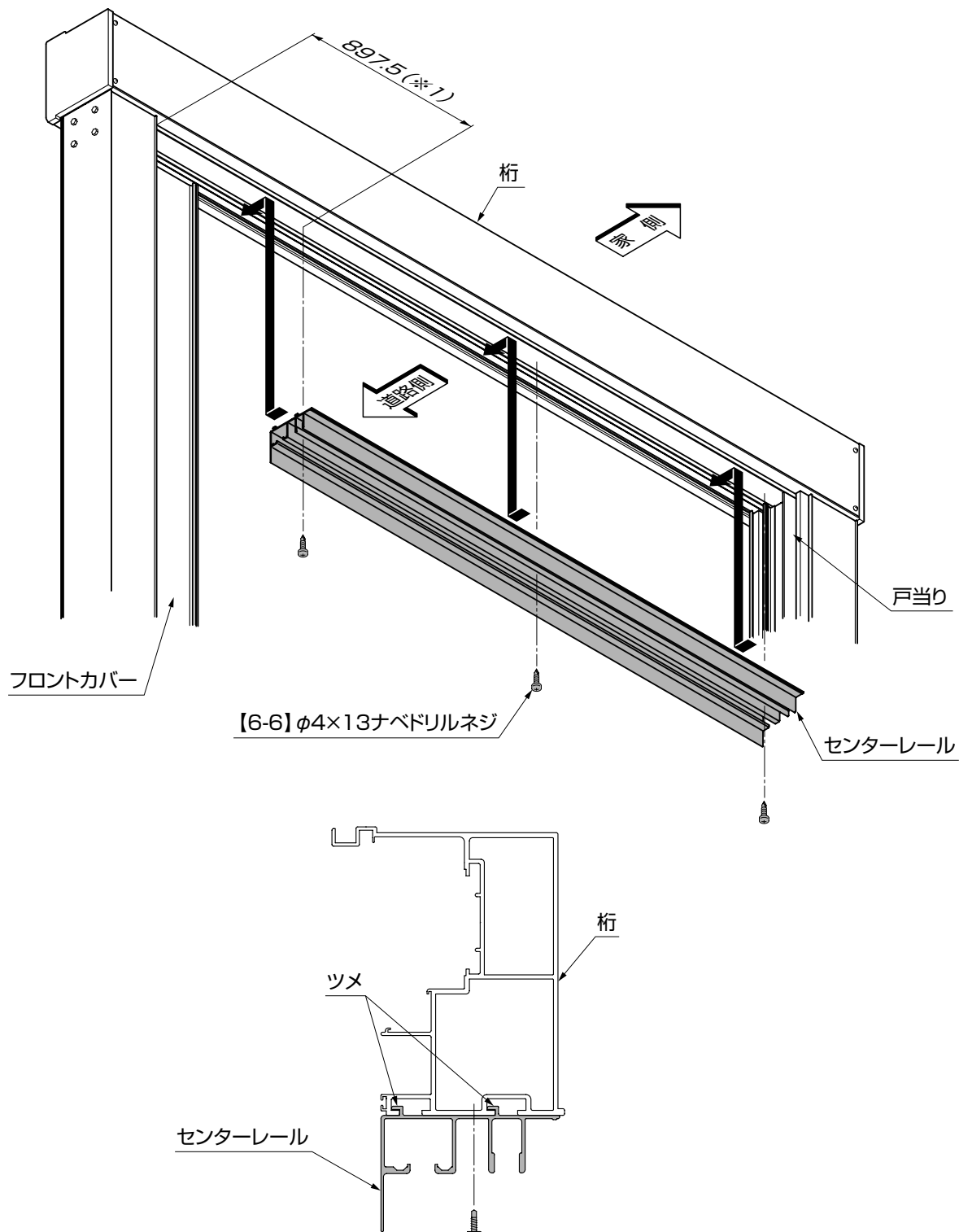


図8-1 シングルタイプの場合

- ① 柵の溝にセンターレールのツメを入れ、道路側に寄せてツメをかけてください。
- ② 柵の基準下穴(※1)にセンターレールを合わせて【6-6】で取付けてください。

8-2 ワイドタイプの場合

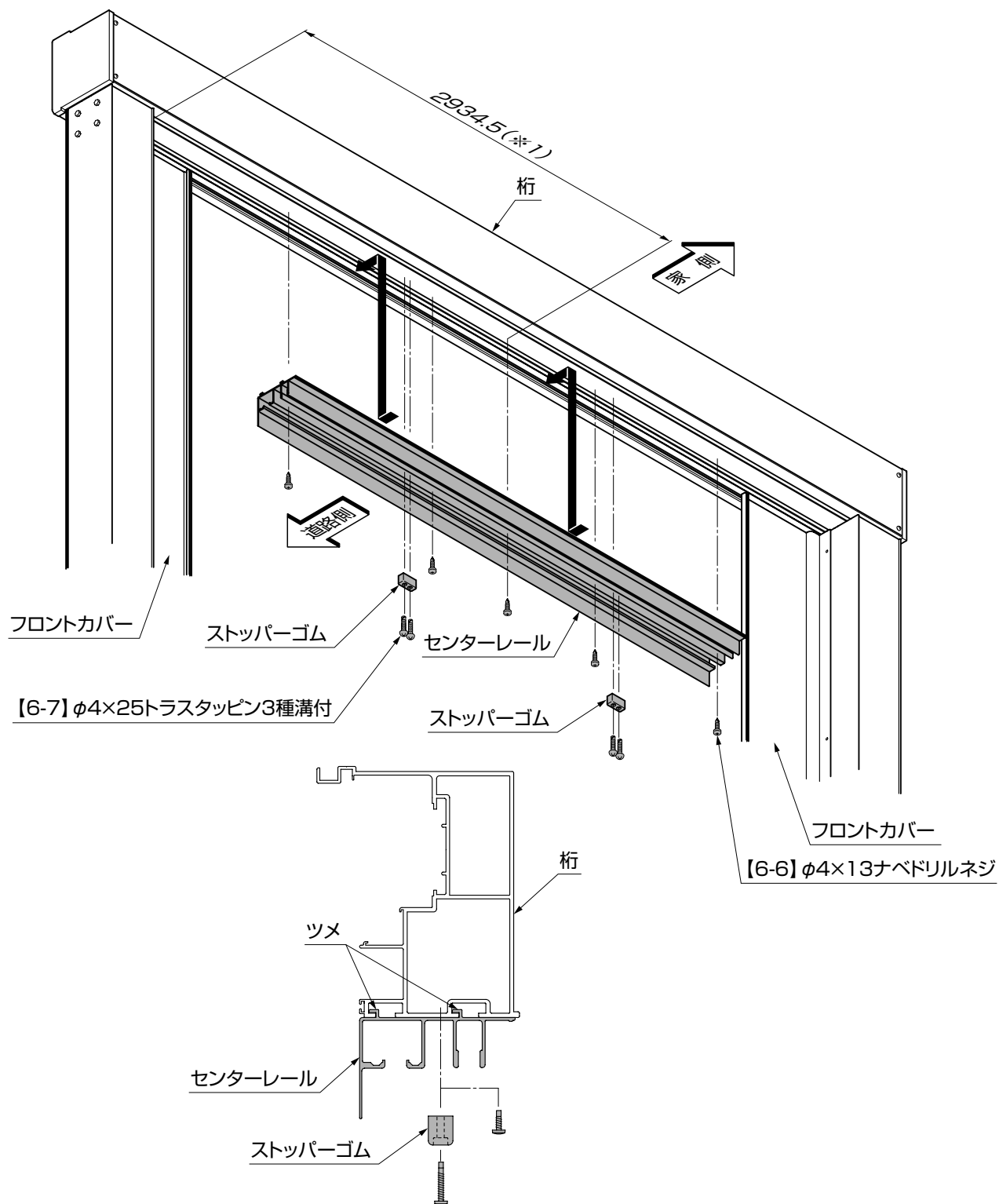


図8-2 ワイドタイプの場合

- ① 桁の溝にセンターレールのツメを入れ、道路側に寄せてツメをかけてください。
- ② 桁の基準下穴(*1)にセンターレールを合わせて【6-6】で取付けてください。
- ③ 桁の下穴に位置を合わせて、桁にセンターレールを【6-6】で取付けてください。
- ④ センターレールの下穴に位置を合わせて、ストッパーゴムを【6-7】で取付けてください。

9. パネルの吊下げ

9-1 吊下げ前の準備

(1) 下ローラーキャップの取付け

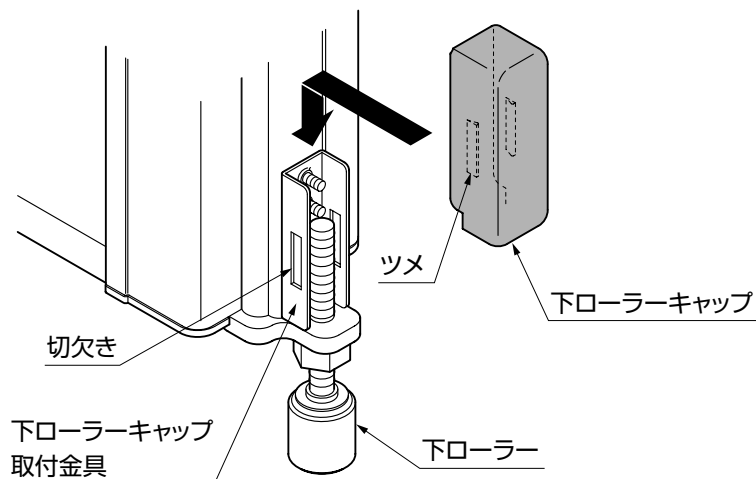


図9-1

- ①下ローラーキャップ取付金具の切欠きに下ローラーキャップ内側のツメを「カチッ」と音がするまではめてください。
(図9-1参照)

ポイント

- 全ての下ローラーキャップ取付金具に下ローラーキャップを取付けてください。
- 下ローラーキャップ取付金具は、合掌框と戸当りパネル、中間パネルと中間パネル、吊元パネルと吊元框のリンクの下部に組付いています。

(2) 跳ね出しローラーの取付け

※図は、右引き用吊元パネルを示します。左引き用は左右対称になります。

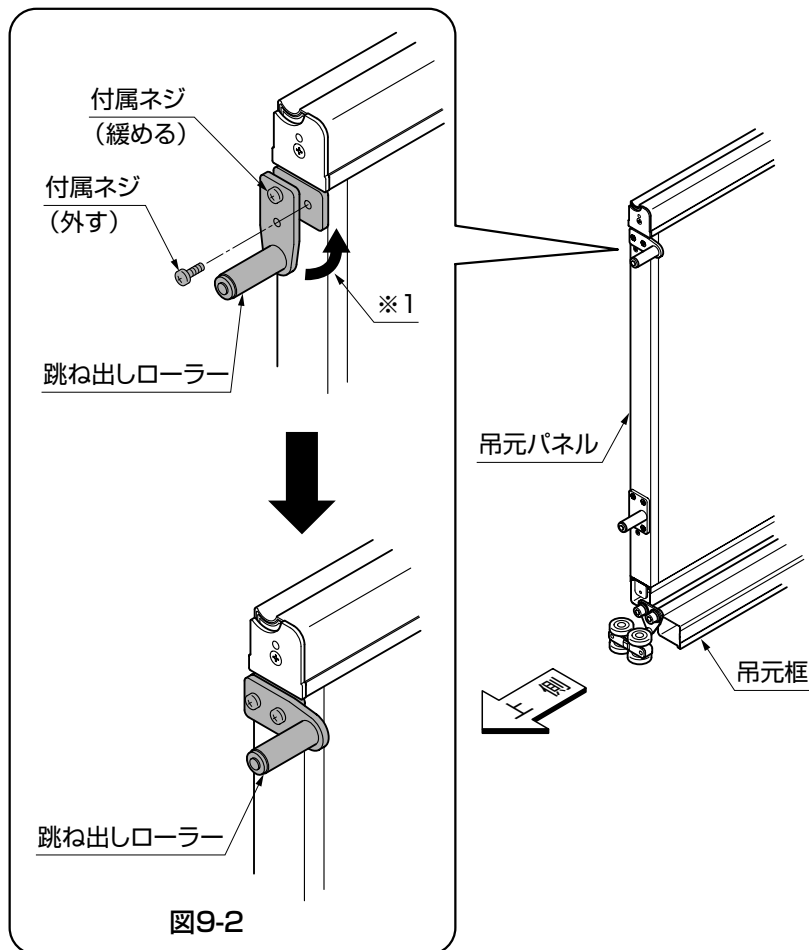


図9-2

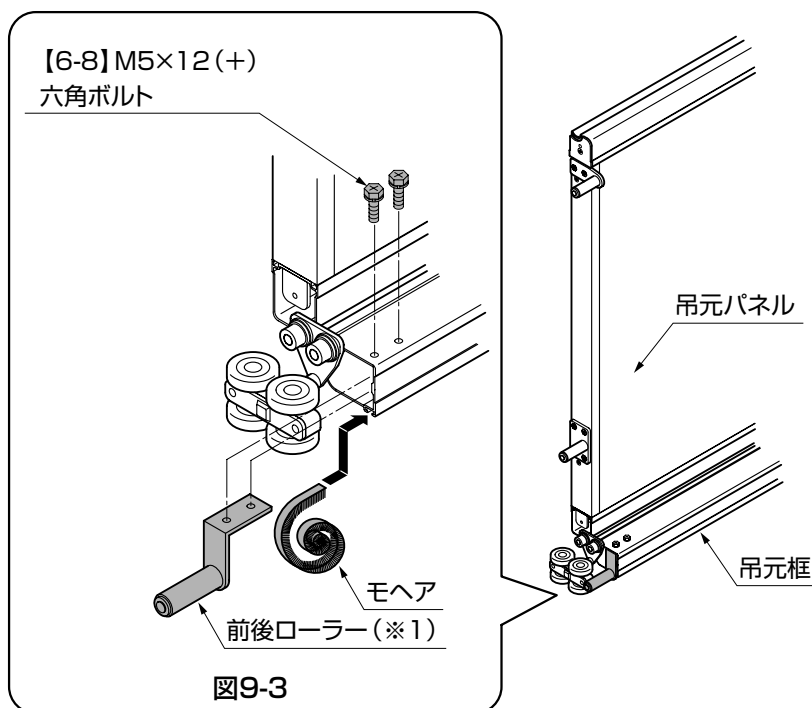
- ①吊元パネルの上部に仮止めしている跳ね出しローラーを付属のネジで取付けてください。
(図9-2参照)

ポイント

- 取付け方向や方法(※1)を間違えるとパネルの吊下げができなかったり、施工後に正常な開閉ができなくなります。
(図9-2、図9-5参照)

(3) 吊元ローラーとモヘアの取付け

※図は、右引き用吊元パネルを示します。左引き用は左右対称になります。



- ①吊元框の上部に前後ローラーを【6-8】で取付けてください。(図9-3参照)
- ②吊元框にモヘアを取付けてください。(図9-3参照)

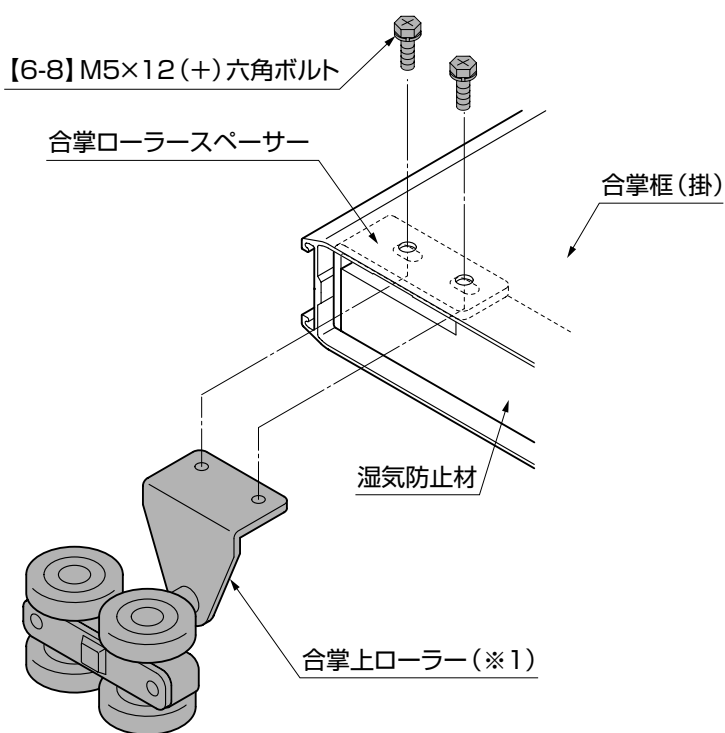
ポイント

- 取付け方向や方法(※1)を間違えるとパネルの吊下げができなかったり、施工後に正常な開閉ができなくなります。(図9-3、図9-5参照)

補足

- モヘアが余った場合は、吊元框の端部で切断してください。

(4) 合掌ローラーの取付け



- ①合掌框 (掛) に合掌上ローラーを【6-8】で取付けてください。(図9-4参照)

ポイント

- 取付け方向や方法(※1)を間違えるとパネルの吊下げができなかったり、施工後に正常な開閉ができなくなります。(図9-4、図9-5参照)

補足

- ワイドタイプの場合は、合掌框 (受) にも同様に取付けてください。

図9-4

9. (つづき)

9-2 パネルの吊下げ ※各パネルごとに吊る場合

※図は、右引きを示します。左引きは左右対称になります。

※ワイドタイプの場合は、受け側パネルも同様に取付けてください。

ポイント

- この作業は、開閉に必要な空きスペースの上空に障害物がない場合に有効な施工方法です。障害物がある場合は、「9-3 パネルの吊下げ ※まとめて吊る場合」にしたがって施工してください。
(「2-2 扉はみ出し寸法・必要高さ寸法」参照)

(1) 各パネルの吊下げ

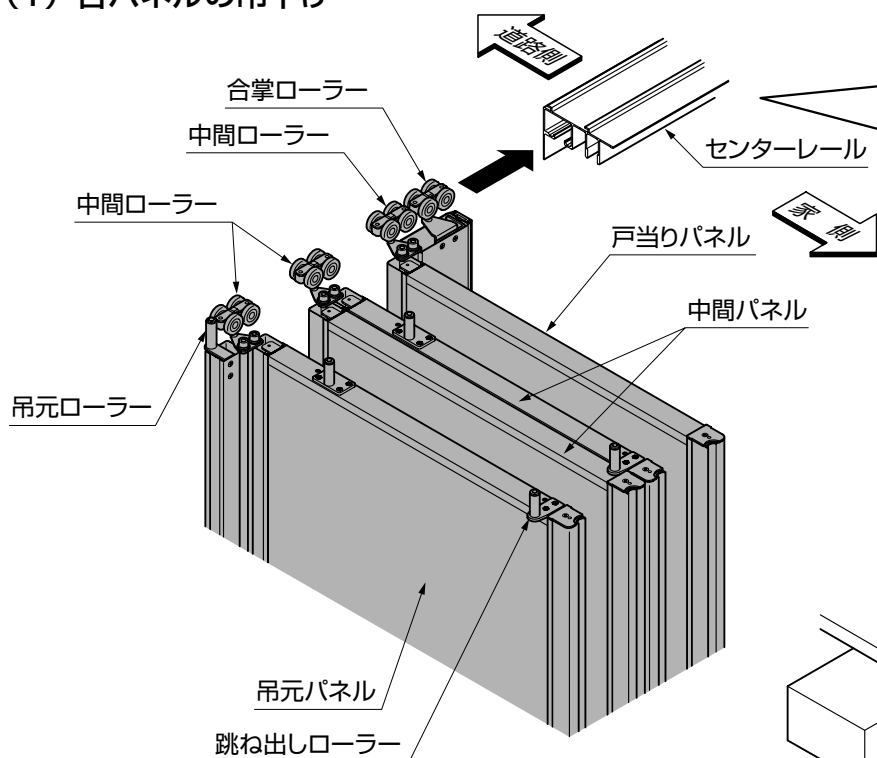


図9-5

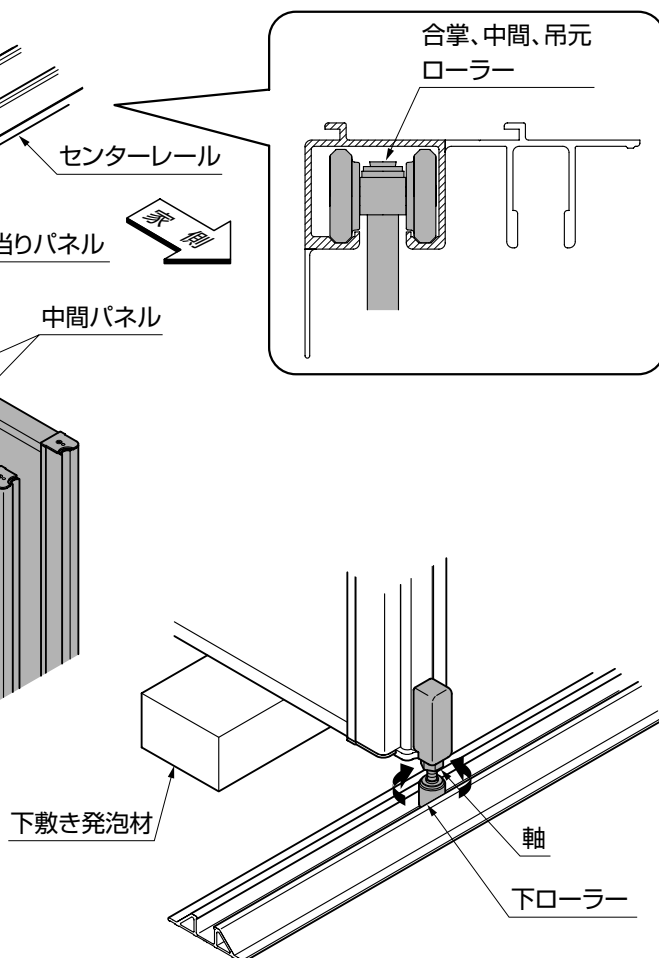


図9-6

- ①合掌ローラーと戸当りパネルの中間ローラーをセンターレールに通して戸当りパネルを吊下げ、下ローラーを仮調整してください。(図9-5、図9-6参照)
- ②中間パネルの中間ローラーをセンターレールに通して中間パネルを吊下げ、下ローラーを仮調整してください。(図9-5、図9-6参照)
- ③吊元パネルの中間ローラーと吊元ローラーをセンターレールに通して吊元パネルを吊下げ、下ローラーを仮調整してください。(図9-5、図9-6参照)

補足

- 下ローラーの仮調整にはスパナ(呼び17)を使用し、下ローラーが下レールに十分に入るまで軸を回して伸ばしてください。
- 吊下げたパネルの下部に下敷き発泡材をかませて固定しておくとう作業がスムーズに行なえます。

Technical diagram of a sliding door assembly. The diagram illustrates the internal components and hardware used in the door's construction. Key components labeled include:

- 六角穴付ボルト (Hexagonal hole bolt)
- リンク (Link)
- 戸当りパネル (Door stop panel)
- 吊元パネル (Hanging panel)
- 中間パネル (Intermediate panel)
- リンク框 (Link frame)
- 吊元パネル (Hanging panel)
- 中間パネル (Intermediate panel)
- 戸当りパネル (Door stop panel)
- 潤滑剤 (Lubricant)
- 【7-3】M8平座金 (7-3 M8 flat washer)
- 【7-2】M8バネ座金 (7-2 M8 spring washer)
- 【7-1】M8×20 六角穴付ボルト (7-1 M8×20 hexagonal hole bolt)

图9-8

- ### 9-3 パネルの吊下げ ※まとめて吊る場合

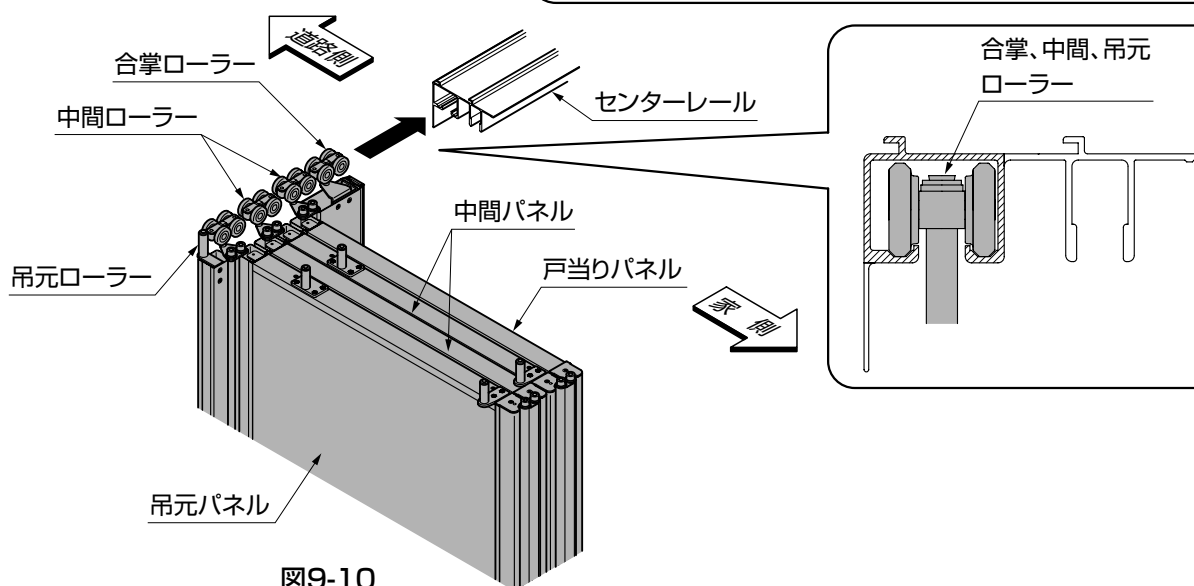
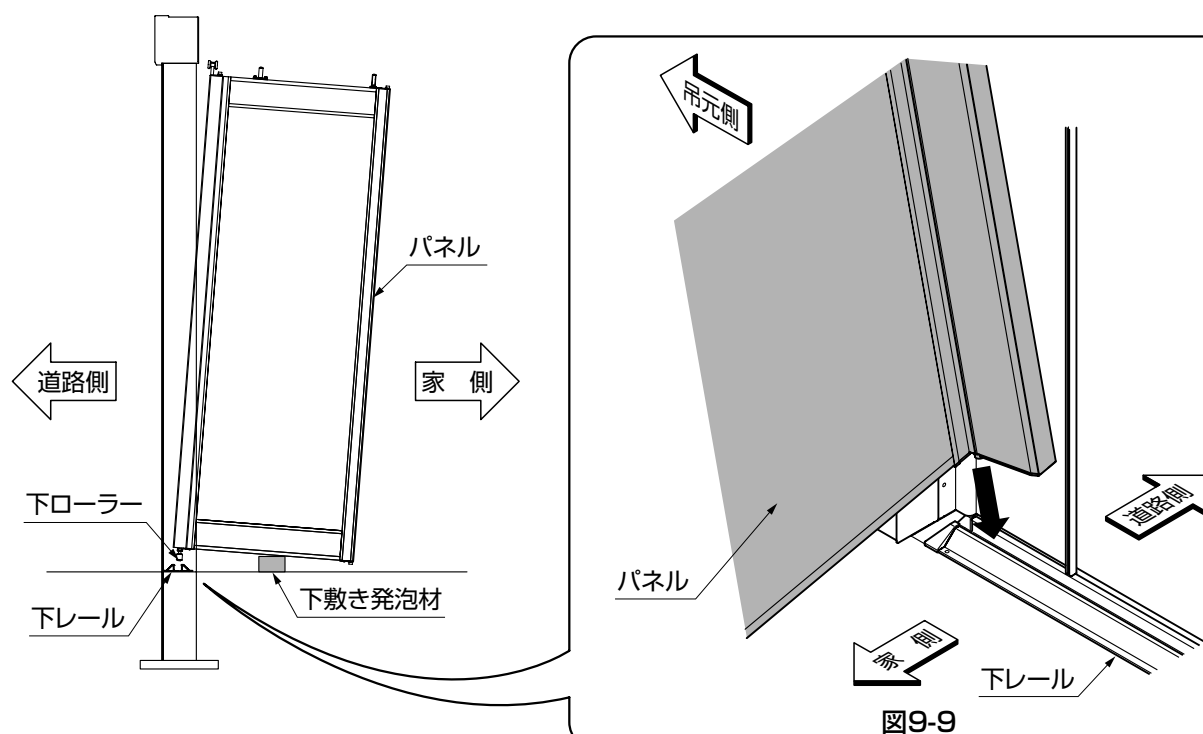
ポイント

- 注意**

- D457 201210D

9. (つづき)

(2) 連結したパネルの吊下げ



① パネルを折りたたんだ状態で、吊元側の下レールに下ローラーを静かに入れてください。(図9-9参照)

補足

- 下敷き発泡材を使用すると作業がスムーズに行なえます。

② 合掌ローラー、中間ローラー、吊元ローラーの順にセンターレールに通してパネルを吊下げ、下ローラーを仮調整してください。(図9-6、図9-10参照)

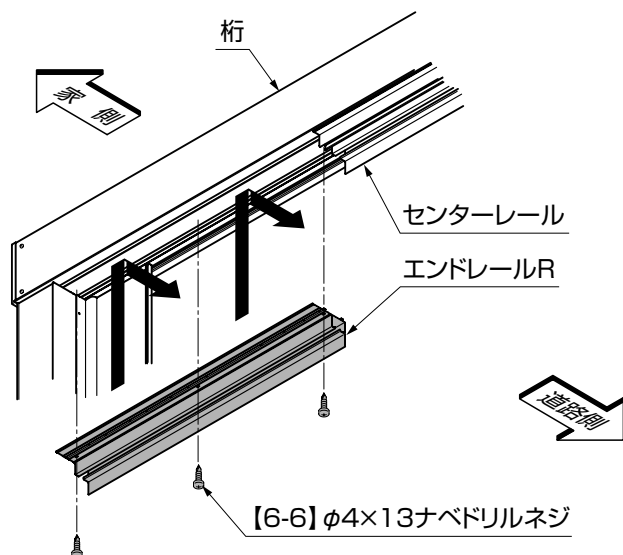
補足

- 下ローラーの仮調整にはスパナ(呼び17)を使用し、下ローラーが下レールに十分に入るまで軸を回して伸ばしてください。

9-4 エンドレールの取付け

※図は、右引きを示します。左引きは左右対称になります。

※ワイドタイプの場合は、両端に取付けてください。



①桁の溝にエンドレールのツメを入れ、道路側に寄せてツメをかけてください。

②桁の下穴に位置を合わせて【6-6】で取付けてください。

ポイント

- センターレールとエンドレールの継ぎ目に段差やすき間ができないように取付けてください。

9-5 跳ね出しガイドとサイドレールの取付け

※図は、右引きを示します。左引きは左右対称になります。

※ワイドタイプの場合は、両端に取付けてください。

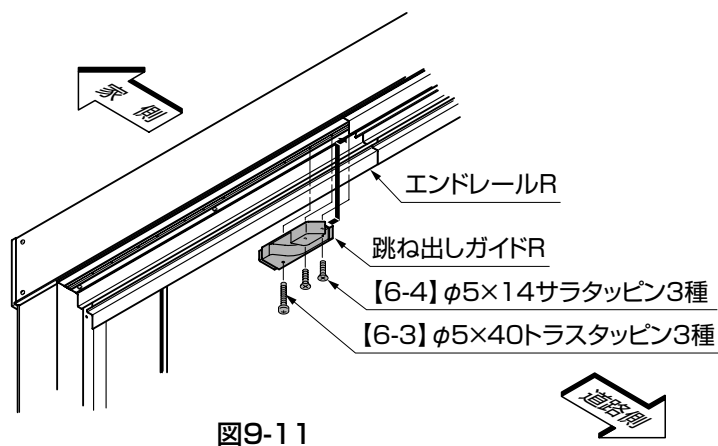


図9-11

①エンドレールに跳ね出しガイドを【6-3】、【6-4】で取付けてください。(図9-11参照)

②跳ね出しガイドにサイドレールを差込んで、【6-3】で取付けてください。(図9-12参照)

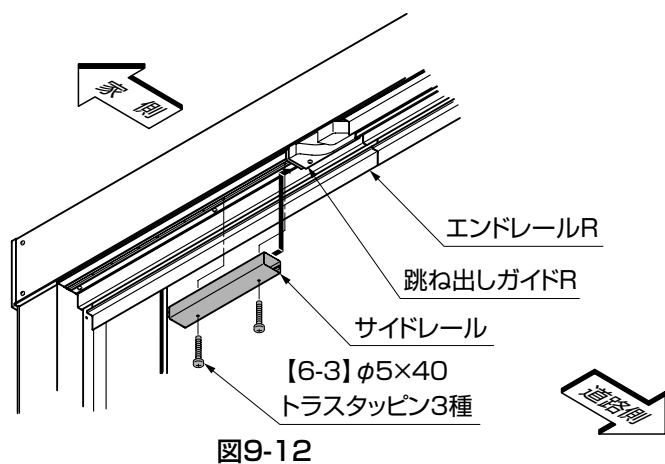


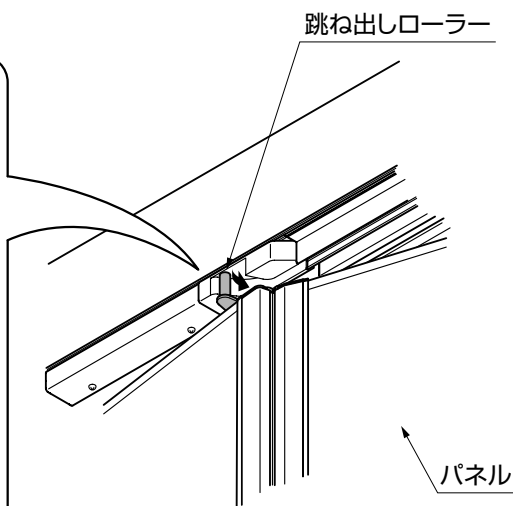
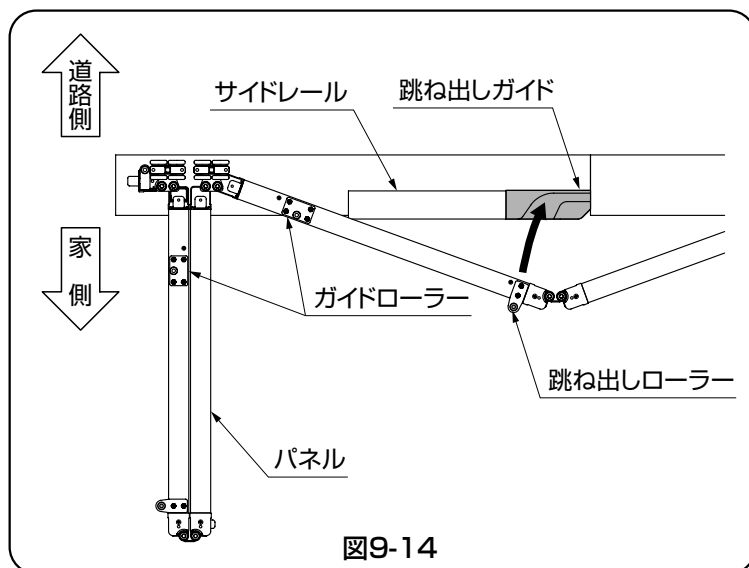
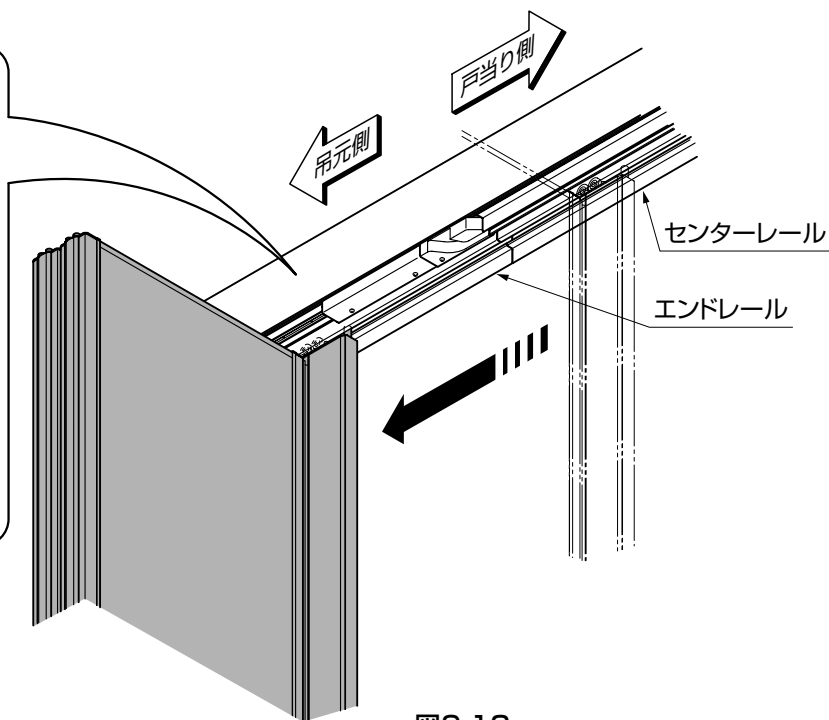
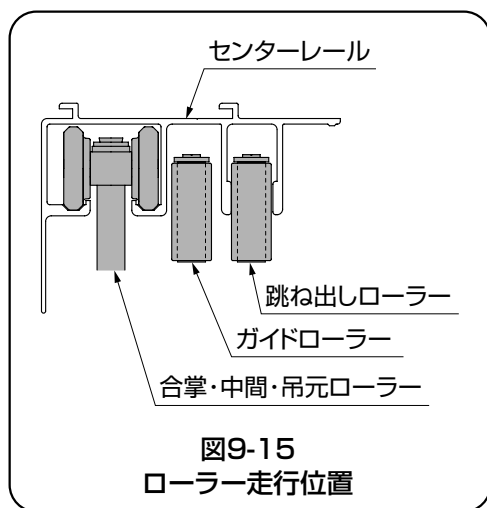
図9-12

9. (つづき)

9-6 パネルの閉じ込み

※図は、右引きを示します。左引きは左右対称になります。

※ワイドタイプの場合は、掛け、受けの両方行なってください。



① パネルを折りたたんだ状態でエンドレール側に移動してください。(図9-13参照)

補足

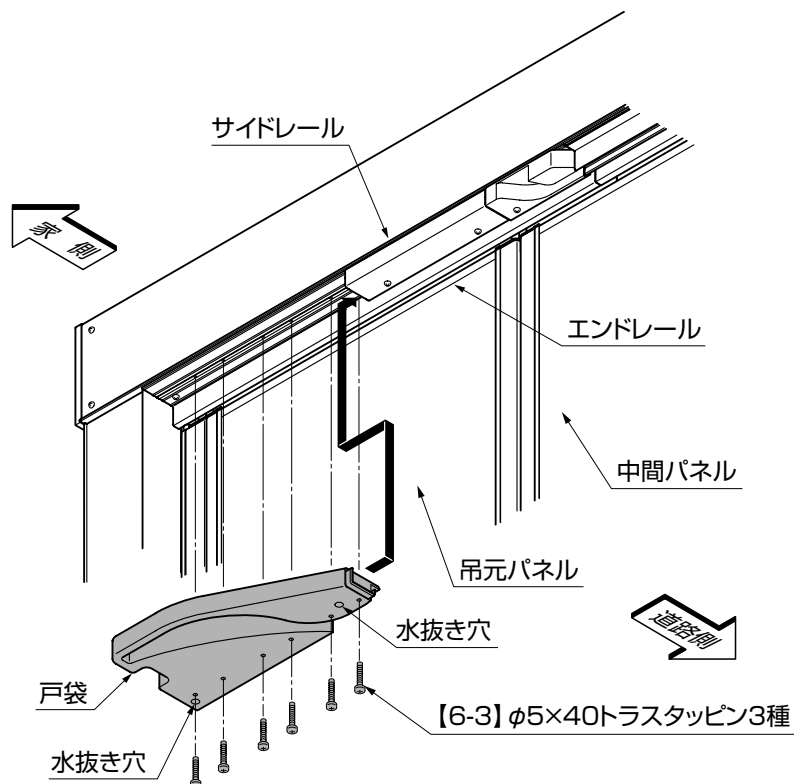
●各ローラーに負荷がかからないように、ゆっくりと平行に移動してください。

② パネル上部についている跳ね出しローラーを跳ね出しガイドに入れながらパネルを閉めてください。
(図9-14、図9-15参照)

9-7 戸袋の取付け

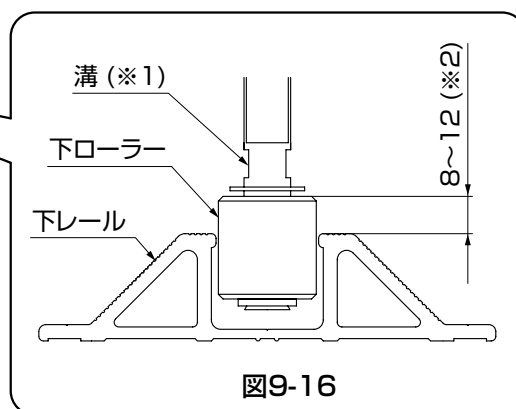
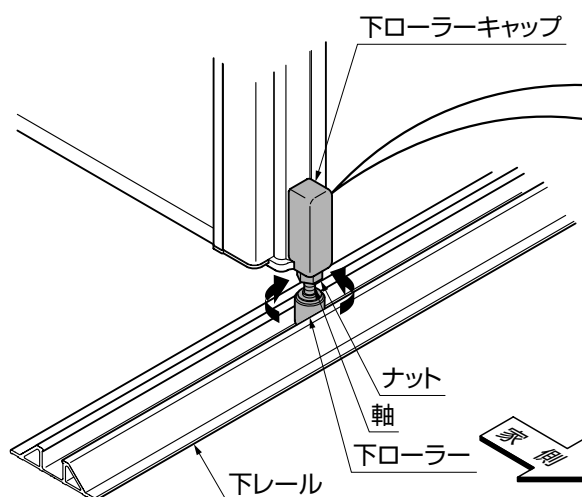
※図は、右引きを示します。左引きは左右対称になります。

※ワイドタイプの場合は、両端に取付けてください。



①戸袋をサイドレールに差込み、【6-3】で取付けてください。

9-8 下ローラーの調整



①下ローラーの軸を回して高さを調整してください。

補足

- 全ての下ローラーについて、パネルを閉じたときの桁のたわみを考慮して調整してください。
- 下ローラーの軸を回すときは、軸の溝(※1)にスパナ(呼び8)を差込んで回してください。
- 下ローラーは、下レールの端から8mm~12mm以内(※2)で調整してください。

②ナットをスパナ(呼び17)を使用して絞込み、下ローラーを固定してください。

10. 錠の取付け

10-1 戸先錠ケースの取付け

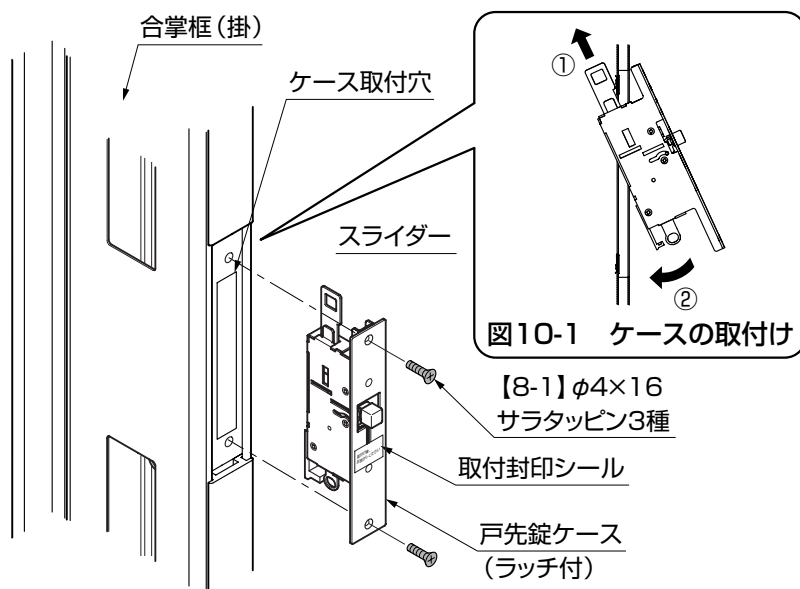


図10-2

10-2 手動戸先内外錠ユニットの取付け

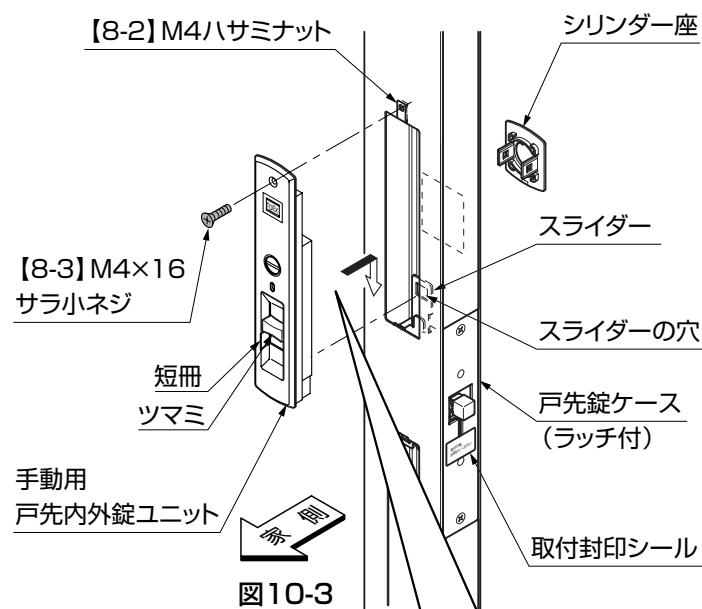


図10-3

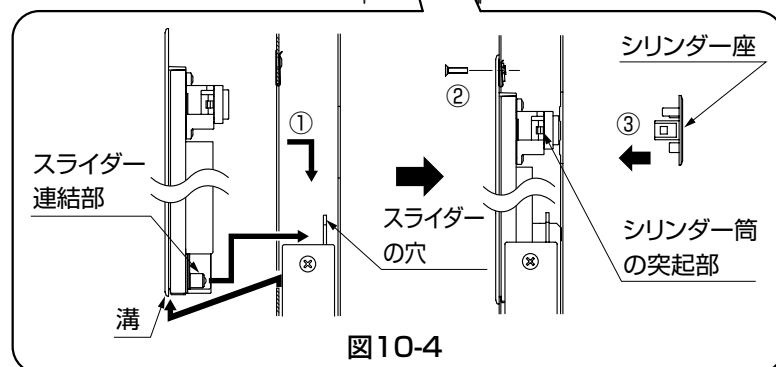


図10-4

- ①合掌框(掛)のケース取付穴に戸先錠ケースを入れて、【8-1】で取付けてください。
(図10-1、図10-2参照)

- ①合掌框(掛)に【8-2】を差込んでください。
(図10-3参照)

- ②手動戸先内外錠ユニットのスライダー連結部をスライダーの穴に合わせて、溝を合掌框に差込んで【8-3】で取付けてください。
(図10-3、図10-4参照)

- ③道路側からシリンダー筒の突起部に合わせてシリンダー座を差込んでください。
(図10-3、図10-4参照)

- ④短冊と取付封印シールを取除いてください。

10-3 把手の取付け

(1) 掛け側

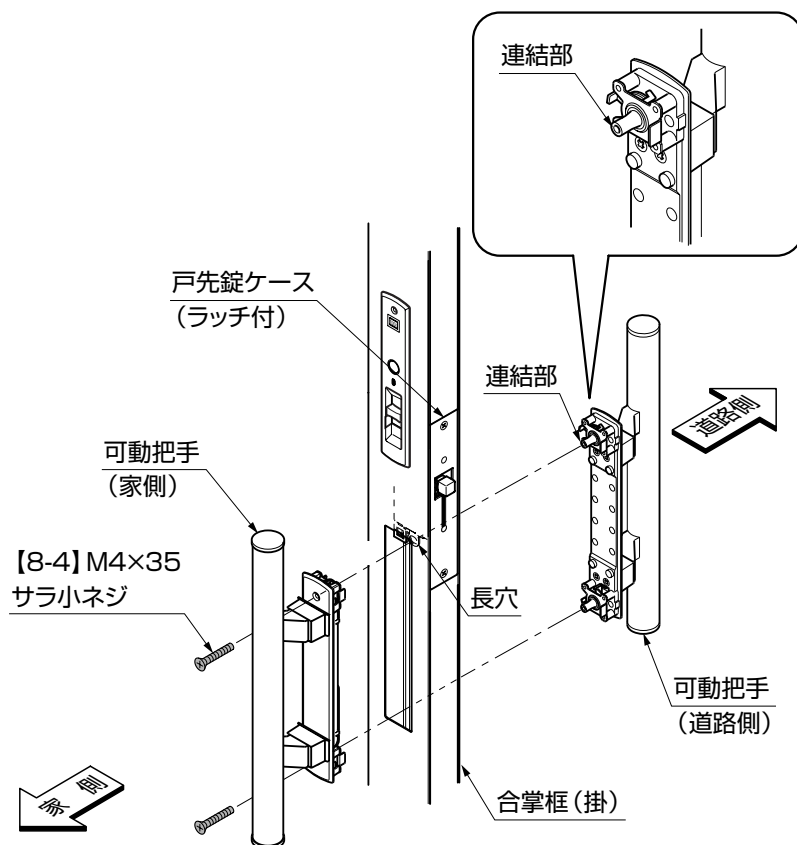


図10-5

①可動把手(道路側)の連結部を戸先錠ケースの長穴に差込み、可動把手(家側)を【8-4】で取付けてください。(図10-5参照)

(2) 受け側

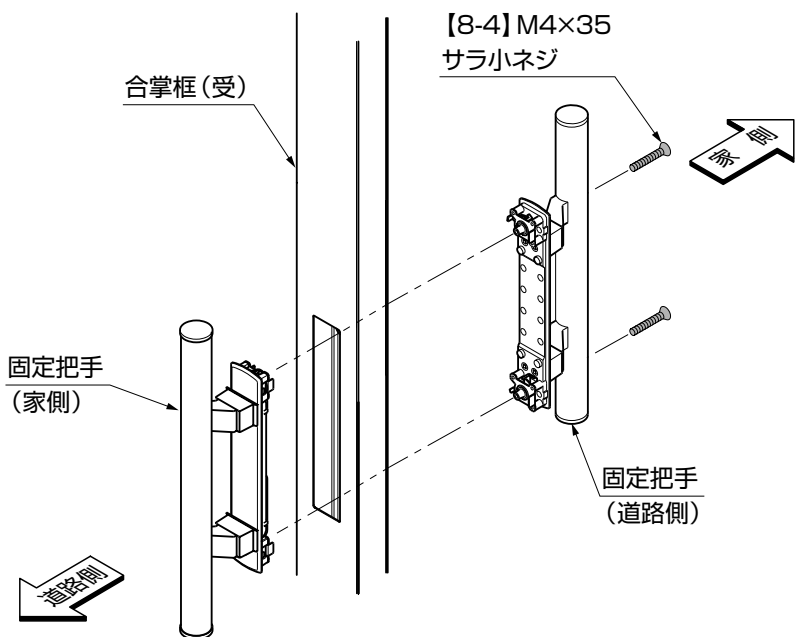


図10-6

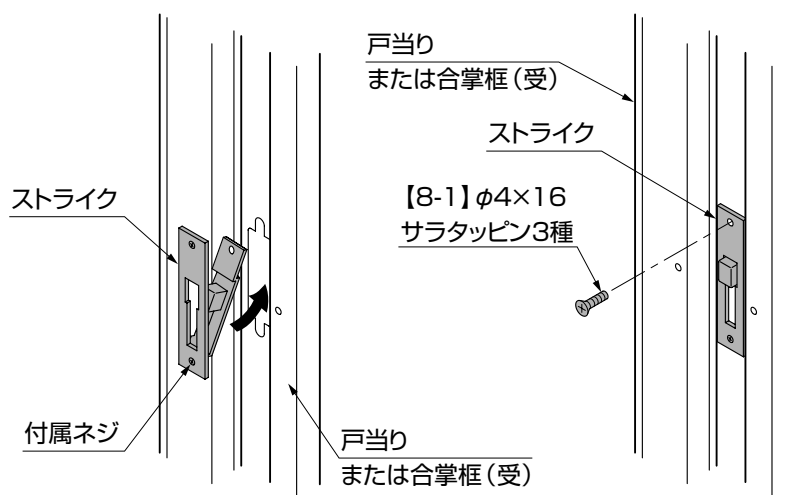
補足

●ワイドタイプの場合は、合掌框(受)にも把手を取付けてください。

①固定把手(道路側)と固定把手(家側)を合掌框(受)の取付穴に差込み、【8-4】で取付けてください。

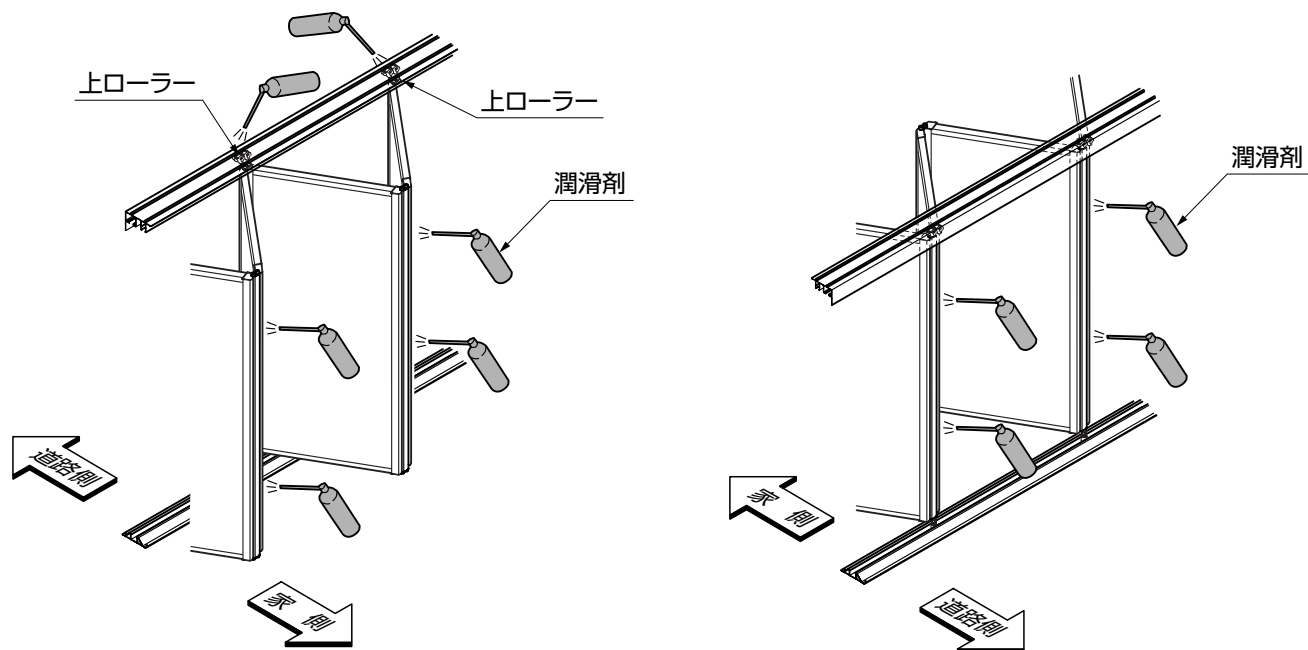
10. (つづき)

10-4 ストライクの取付け



- ① ストライクの付属のネジを緩めて、戸当りの切欠き穴に差込んでください。
- ② 緩めたネジと【8-1】で引き込んで固定してください。

11. 潤滑剤の塗布



- ① パネルが折れ曲がる部分や合掌ローラー、中間ローラー、吊元ローラー等に潤滑剤を塗布してください。

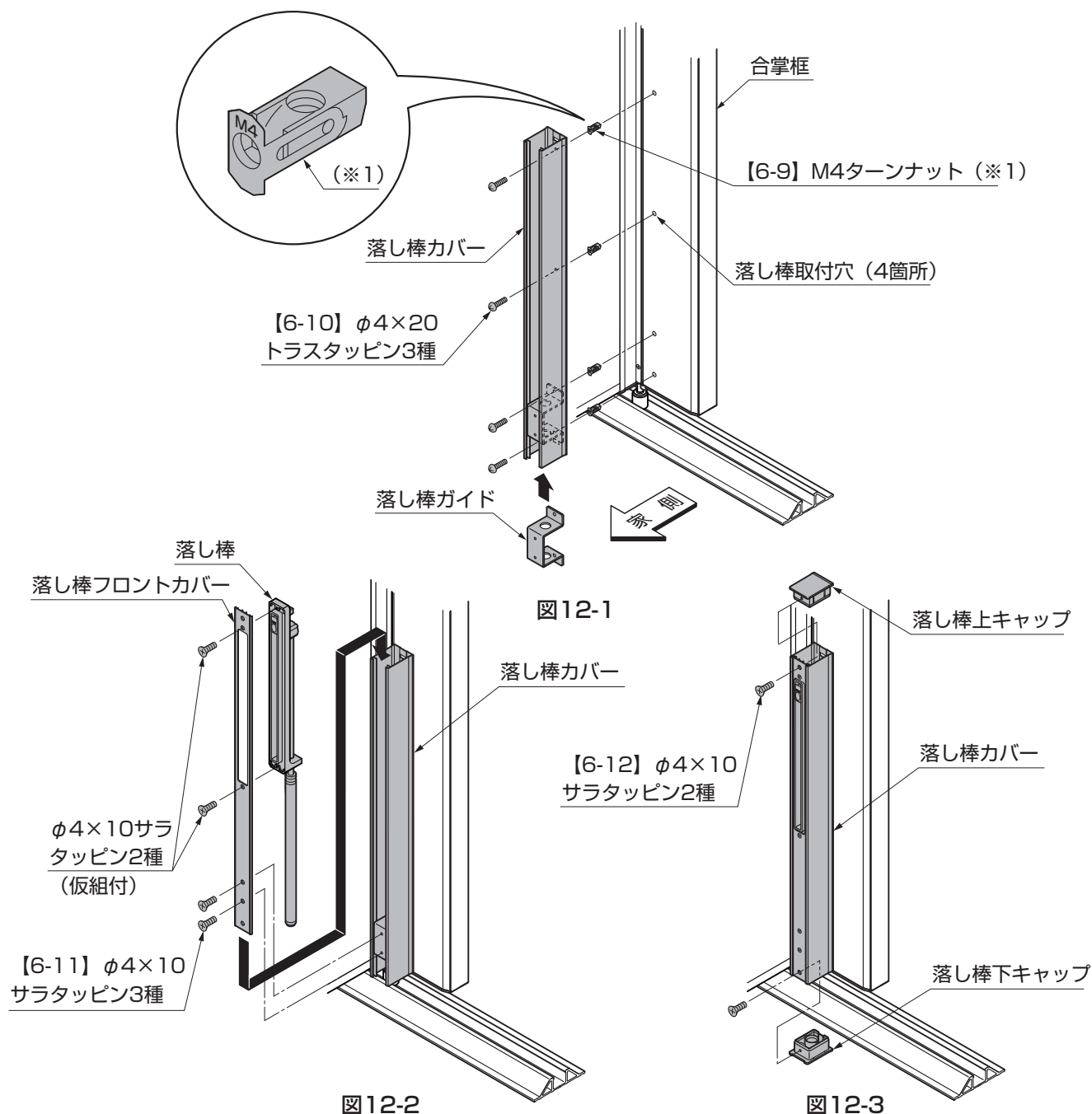
ポイント

- 潤滑剤はシリコン系のものを使用してください。他のものを使用すると砂やほこりが付着し、動きを悪くするおそれがあります。

12. 落とし棒の取付け

※図は、シングルタイプ右引きを示します。左引きは左右対称になります。

※ワイドタイプの場合は、受け側パネルも同様に取付けてください。



- ①合掌框の落とし棒取付穴に【6-9】 (※1) を差込んでください。(図12-1参照)
- ②落とし棒カバーに落とし棒ガイドを入れて【6-10】 で取付けてください。(図12-1参照)

補足

- ターンナット (※1) を差込むときは、「M4」の表示を上になさってください。

- ③仮組付けしてある落とし棒と落とし棒フロントカバーを落とし棒カバーに上から差込んで、落とし棒ガイドに【6-11】 で取付けてください。(図12-2参照)
- ④落とし棒と落とし棒フロントカバーを仮組付けしているネジを締めてください。
- ⑤落とし棒カバーに落とし棒上キャップと落とし棒下キャップをそれぞれ【6-12】 で取付けてください。(図12-3参照)

12. (つづき)

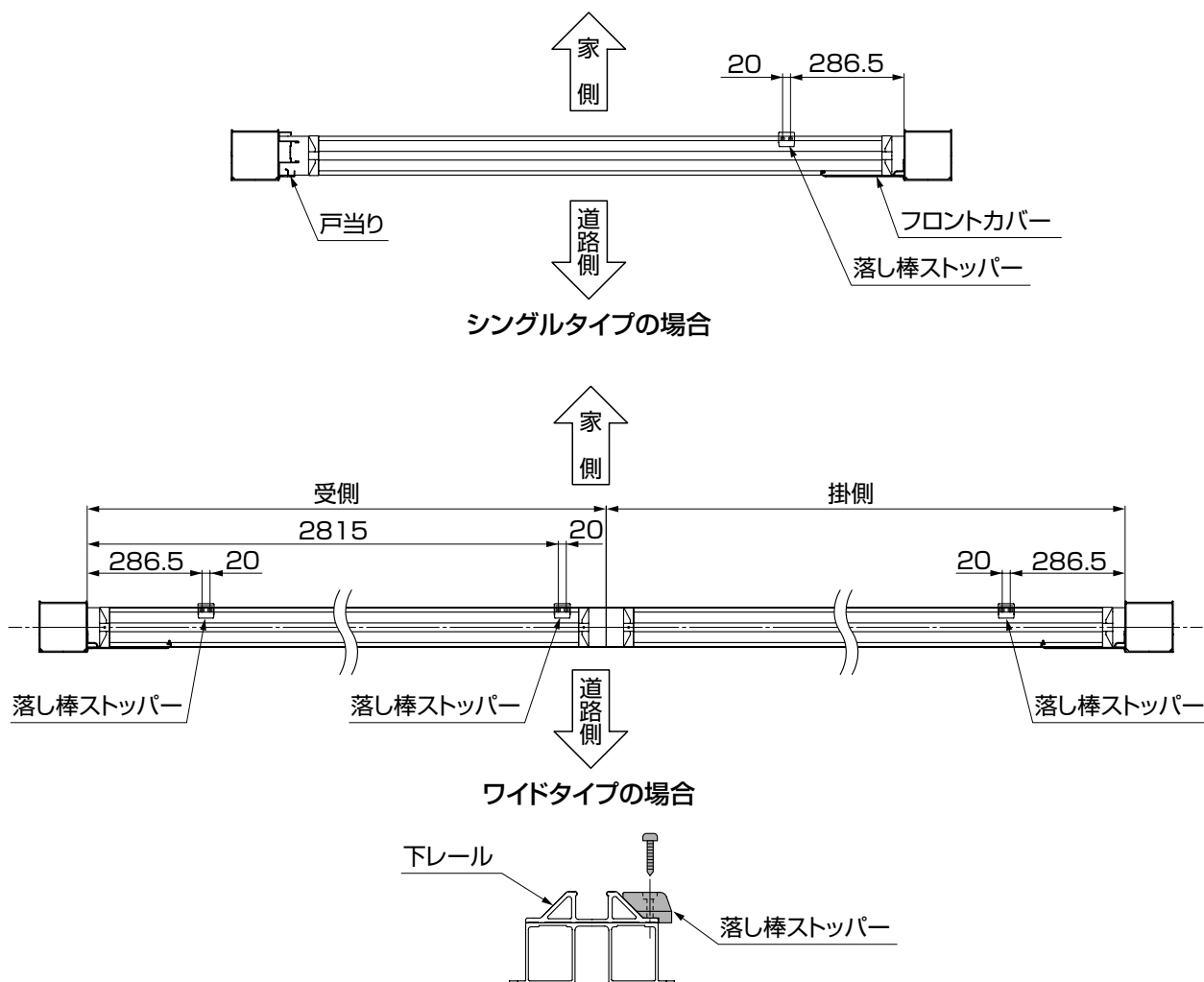


図12-4

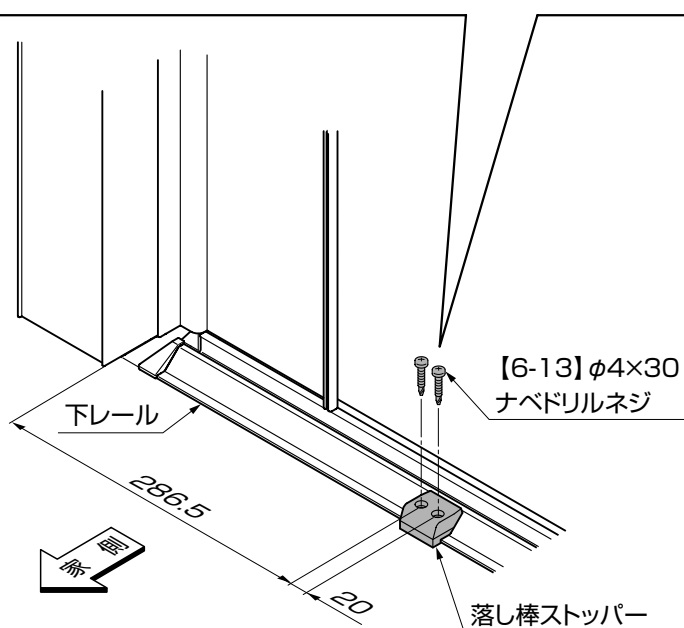
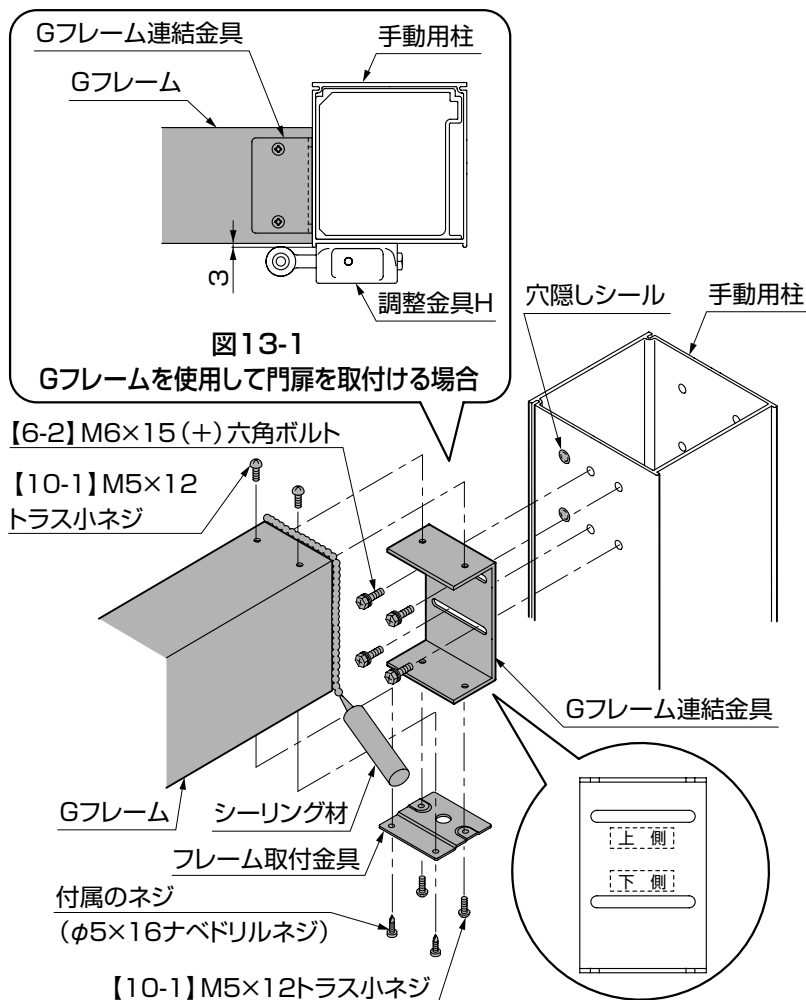


図12-5

⑥指定の寸法位置にφ3.5の下穴をあけ、落とし棒ストッパーを【6-13】で取付けてください。(図12-4、図12-5参照)

13. Gフレームの取付け オプション

13-1 柱の側面（上端部）に取付ける場合



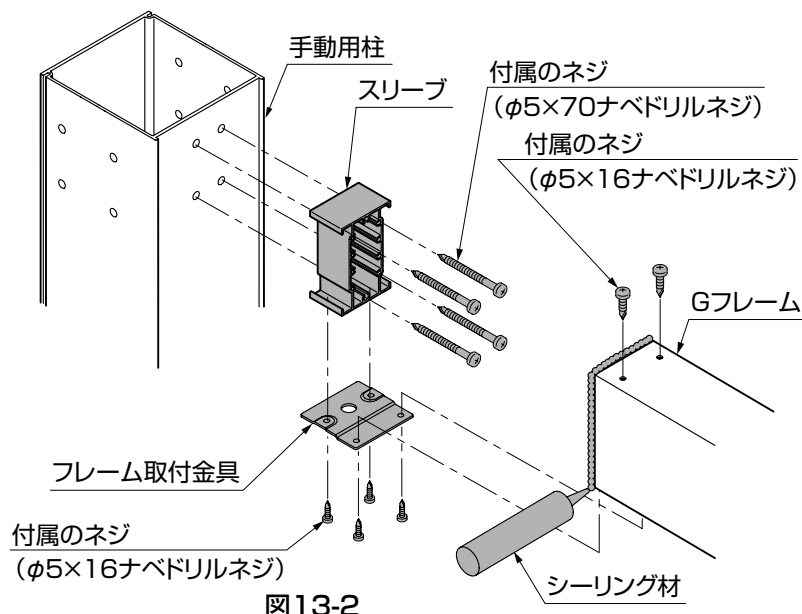
- ① 桁を固定している【6-2】を4本外してください。
- ② Gフレーム連結金具の位置を合わせて、外したネジで共締めしてください。
- ③ Gフレームを【10-1】でGフレーム連結金具に取付けてください。
- ④ フレーム取付金具を【10-1】と付属のネジでGフレーム連結金具とGフレームに取付けてください。
- ⑤ Gフレームと柱との合わせ部をシーリング処理してください。

ポイント

- フレームデザインカバーは取付けられません。
- シーリング材は現場で手配してください。

13-2 柱の側面（上端部以下）・家側面に取付ける場合

※図は、家側面に取付けた場合を示します。



- ① スリーブを付属のネジで柱に取付けてください。
- ② Gフレームを付属のネジでスリーブに取付けてください。
- ③ フレーム取付金具を付属のネジでスリーブとGフレームに取付けてください。
- ④ Gフレームと柱の合わせ部をシーリング処理してください。

ポイント

- フレームデザインカバーは取付けられません。
- シーリング材は現場で手配してください。

14. 施工後の作動検査と確認

ポイント

- 柱・桁・下レールの施工寸法に狂いが生じていないか確認してください。「6-2 施工時の確認項目」にある寸法が許容範囲を外れていると正常な作動ができない場合があります。
- 施工後に以下の内容を確認し、必要に応じて点検・処置を行なってください。

14-1 パネルの作動確認

※施工後に以下の確認を行なってください。

①合掌框に手を掛けてパネルを全開、全閉まで作動してください。

チェック	確 認	点 検	処 置
	作動時に引っ掛かりなどはありませんか	下レールにモルタル、石、ゴミなどはありませんか	下レールを清掃してください
		下ローラーが下レールの底にあたっていませんか	下ローラーを調整してください (「9-8 下ローラーの調整」参照)
		下ローラーのナットが緩んでいませんか	下ローラーを調整して締めてください (「9-8 下ローラーの調整」参照)
	作動時に著しく重くありませんか ※作動力の目安 初動時25N(約2.5kgf) ピーク時50N(約5kgf)	センターレールとエンドレールの継ぎ目があいていませんか	位置を調整してください (「8.センターレールの取付け」、 「9-4 エンドレールの取付け」参照)
		センターレールとエンドレールがずれていませんか	位置を調整してください (「8.センターレールの取付け」、 「9-4 エンドレールの取付け」参照)
		リンクに潤滑剤を塗布しましたか	潤滑剤を塗布してください (「11.潤滑剤の塗布」参照)
		上ローラーに潤滑剤を塗布しましたか	潤滑剤を塗布してください (「11.潤滑剤の塗布」参照)
	跳ね出しローラーは跳ね出しガイドを通っていますか	跳ね出しローラーの取付け方に誤りはありませんか	正しい向きに取付けてください (「9-1 (2) 跳ね出しローラーの取付け」参照)
		跳ね出しガイドの取付け方に誤りはありませんか	正しく取付けてください (「9-5 跳ね出しガイドとサイドレールの取付け」参照)
	ガイドローラーは戸袋に納まっていますか	連結したパネルの組合せに誤りはありませんか	ガイドローラーの向きに注意して正しい組合せにしてください (図9-7参照)
		戸袋の取付け方に誤りはありませんか	正しく取付けてください (「9-7 戸袋の取付け」参照)
	合掌框(掛)が合掌框(受)または戸当りにきちんと納まりますか	合掌ローラーの取付け方に誤りはありませんか	正しく取付けてください (「9-1 (4) 合掌ローラーの取付け」参照)
		センターレールとエンドレールがずれていませんか	位置を調整してください (「8.センターレールの取付け」、 「9-4 エンドレールの取付け」参照)
		戸当りの取付け方に誤りはありませんか	正しく取付けてください (「7-1 シングルタイプの場合」参照)

14-2 錠の作動確認

※施工後に以下の確認を行なってください。

①パネルを全閉し、合掌框(掛)を合掌框(受)または戸当りにきちんと納めてください。

チェック	確 認	点 検	処 置
	ツマミをスライドして きちんと施錠・解錠 できますか	短冊は取除きましたか	施工後は不要ですので取除いてください (「10-2 手動用戸先内外錠ユニットの取付け」参照)
		取付封印シールは取除きましたか	施工後は不要ですので取除いてください (「10-2 手動用戸先内外錠ユニットの取付け」参照)
		ストライクの取付け方に 誤りはありませんか	上下の向きに注意して正しく取付けてください (「10-4 ストライクの取付け」参照)

メモ

